

# V 看護学部

## 1 設置の趣旨及び必要性

愛知県立看護大学は、高齢社会の急速な進展に伴う保健医療福祉の需要の増大化・複雑化、医療の高度化・専門化などに対応していくために、愛知県内初の看護学部の大学として平成7年に開学した。東海三県では、初めての公立看護系大学であり、これまでに772名の卒業生を輩出してきた。卒業生は病院、保健所、老人保健施設などの看護職員あるいは、看護教員として東海三県の保健医療福祉施設において中心的な役割を担い、人々の健康福祉の向上に大いに貢献してきたと言える。

一方、この10年の間にわが国の保健・医療を取り巻く現状は、国民の価値観の多様化、超高齢社会に伴う疾病構造の変化、医療費の高騰、医療の高度化、専門化の進展などますます多くの課題を抱えている状況である。そのような中、医療サービスの需要者である国民は、健康に対する意識の高揚に伴い、安全で質の高い看護サービスの提供をさらに強く求めている。このため、従来にも増して専門的知識や技術、適切な判断力を備えた高い看護実践能力を有する看護職が求められている。特に、学士教育課程の卒業生の看護実践能力が問われ始め、高度専門職育成のための教育の充実と改善が急務な状況である。

このような状況のなかで愛知県立看護大学は、平成21年に県立大学との統合により社会や学生のニーズに対応する魅力ある大学づくりを進めている。統合する新大学では、「成熟した共生社会」の実現に資する教育・研究という理念を踏まえ、「共生」に関わる3つのコンセプトに基づき学部・学科編成を進めている。3つのコンセプトの中で看護学部は、主に「社会における人間の共生を支える」「科学技術と人間の共生を図る」コンセプトのもとに次代を担う高度専門職業人の育成を目標に、学部カリキュラムの改変を進めてきた。そのカリキュラムの特色は、中央教育審議会答申の「我が国の高等教育の将来像」をもとに、看護学の高等教育の質を保証すべく、学部を超えた全学共通科目の配置による外国語科目や情報処理科目、国際関係科目の充実、安全で質の高い看護実践能力を育成するための科目の充実により、高齢社会において資質の高い保健師、看護師の育成を目指している。

加えて、このような新大学での看護学部の発展は、県の「健康長寿あいちづくり」施策の推進に大いに寄与し、看護に関する指導的役割を担う資質の高い看護専門職業人を育成することが可能になり、国際性豊かな人材育成にも寄与できるものと考えている。

### (1) 教育研究上の理念、目的

#### 1) 教育理念

本学部の教育は、21世紀の国際社会、少子高齢化において活躍する優秀な看護専門職を育成することである。そのため、全ての人々に対する思いやりと人間愛を根底に、援助対象者を自然と社会との関わりの中で生活している存在として捉え、人間相互の信頼関係のもとで健康の維持増進、疾病からの回復、リハビリテーション、ターミナルケア等それぞれ

れの健康レベルの改善に向け、保健医療福祉施設、在宅、職域、地域などにおいて科学的・理論的かつ倫理的に判断し、看護を展開できる人材を育成する。また、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、文化・生活習慣・考え方の異なる人々への理解、国際感覚の涵養を図るなど、豊かな人間性を基礎とした幅広い視野と高度な看護知識・技術を身につけた資質の高い看護専門職業人の育成をも図るものである。

## 2) 教育目標

- ①科学的思考と科学的問題解決能力を育成する。
- ②人間を全体的・総合的に捉え、その個別性に対応して生活の質を考慮した看護が行える能力を育成する。
- ③保健医療福祉システム全体の中で看護を位置づけ、その総合体制の中で調整的役割をとって地域への貢献を果たすための看護管理・教育の能力を育成する。
- ④科学・医療の発達に向けて自己啓発を続けることのできる幅広い教養と科学的根拠に基づいて実践していくための能力を育成する。
- ⑤国際社会の中で看護の発展に向けて、さまざまな人々と協力し、すべての人々の健康の保持・増進に寄与できる能力を育成する。

## (2) 人材養成の方針

本学部の教育の理念にもとづき、専門的知識の修得と、豊かな人間性を持つ人材の育成をめざすとともに、看護学の教育・研究・実践を通し、人々の健康・福祉の向上と学問の発展に寄与できることをことをめざして、「考えて実践・行動できる」「判断できる」「創造できる」などの能力を備えた資質の高い看護専門職業人を育成する。

## (3) 卒業後の進路の考え方

本学部の卒業生の保健師としての就職先は、愛知県内の保健所をはじめ、市町村保健センター、県内企業などが主流であり、県外市町村への就職率も高い。また、看護師としての就職先も愛知県内の医療機関が主流であるが、関東、中部、関西方面への就職率も高い実績を持つ。また、大学院や助産師養成機関などに進み、さらなる勉学に励む者も多い。新大学においてもこの実績を踏まえ、県内をはじめとして、全国的に活動の場を発展させ、保健・医療・福祉関連領域で社会に貢献することが期待できる。

## 2 学部の特色

看護学部は、看護の基礎教育を重視し、科学的な根拠に基づく確かな知識、専門技術を修得し、高い実践能力と的確な判断力の育成を重視するとともに、高い倫理観を有し、主体的に行動できる人間性豊かな看護専門職業人を育成することとしている。

今回のカリキュラム改変においては、看護実践能力育成の強化を考慮するとともに、人

間の総合的な理解、健康についての科学的な理解に焦点をあてた教育のさらなる充実を図る。さらに、看護実践能力には、科学的、系統的な看護判断力が求められるために、講義のみならず実験・実習を取り入れ、看護実践の基礎となる科学的視点を与えるとともに、専門基礎科目との有機的連携を強化した。

統合後の看護学部の教育は、長久手キャンパスと守山キャンパスの2つのキャンパスで実施する。長久手キャンパスにある外国語学部、教育福祉学部、情報科学部などの他学部との交流をとおして、国際性豊かな幅広い教養を有し、看護専門職業人としての倫理観を備えた、看護を実践できる保健師、看護師を育成する。

また、本学部は看護の実践的役割を強く認識し、健康と看護をめぐる地域社会のさまざまなニーズや健康問題に対して開かれた体制を整え、公開講座や地域との共同調査研究の積極的な展開を図り、地域社会の要請に応えうる看護専門職業人を育成する。

### 3 学部の名称、および学位の名称

本学部では、看護専門職として看護学の発展に寄与する人材の育成を目指している。学部設置の趣旨および理念などにもとづき、学部の名称は「看護学部」(英訳名称「School of Nursing & Health」)とし、学科の名称は「看護学科」(英訳名称「Department of Nursing & Health」)とする。学位の名称は学士(看護学)(英訳名称「Bachelor of Nursing」)とする。

### 4 教育課程の編成の考え方及び特色(資料1~3)

本学部のカリキュラムは、看護師教育と保健師教育を統合し、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、専門としての看護学である専門科目群とその基礎科学である専門基礎及び専門科目の関連科目からなる専門基礎・関連科目群、さらに調和のとれた社会人として、国際性豊かな幅広い教養や豊かな人間性、総合的な判断力を目的とする全学共通科目群の3つの群で構成している。

そのうち、専門基礎・関連科目群は、専門基礎科学領域として、人体の構造と機能の学、疾病と治療の学、健康援助の学に関する科目を設定した。また専門科目群は、系統的に総合看護学領域、広域看護学領域、臨床看護学領域、看護の統合と探究領域の4領域とし、看護の専門的な知識、高い看護実践能力および看護専門職業人としての倫理観や態度を修得するように構成している。

#### (1) 全学共通科目群

全学共通科目群は、幅広い教養を身につけ、総合的な判断力と豊かな人間性を養うために、「[知の拠点]を目指すためのスキル科目」「[知の拠点]を目指すためのディシプリン基礎科目」「[成熟した共生社会]の実現に資する本学の理念」「グローバルな多文

化共生を目指す科目」「社会における人間の共生を支える科目」「科学技術と人間の共生を図る科目」「生涯にわたる人間の健康と豊かなスポーツ・運動生活を支える科目」で構成する。

看護学部では、国際性豊かな幅広い視野と判断力及び看護専門職に求められる倫理観を備えた豊かな人間性を養うことを目的とし、20 単位以上の学修を課す中で必修は、英語 I、情報処理 A、スポーツ実習の計 8 単位のみとしている。必修科目以外では、外国語科目や情報科目、教養科目、キャリア教育科目、健康・スポーツ科目などの幅広い科目の中から 12 単位を選択できるようにしている。

## (2) 専門基礎・関連科目群

専門基礎・関連科目群は、人間を取り巻く自然・社会・文化的環境を基盤として、人間の健康及び健康生活に関する基礎的知識及び看護学を理解するための基礎概念や関連科学の知識の修得を目的として、「人体の構造と機能の学」「疾病と治療の学」「健康援助の学」の 3 領域で構成する。

「人体の構造と機能の学」は、人体に関する基礎的な科学的知識を修得させるための領域であり、人体解剖学、人体生理学、栄養代謝学、分子生物学、生命と化学などの 10 科目を配置している。このうち生命と化学については、中等教育において化学や生物を十分に学修していない学生への導入教育的な意味合いを持たせている。

「疾病と治療の学」は、人間と自然・社会・文化的環境との関わりの中で生じてくる疾病と、その治療に関する科学的知識を修得させるための領域であり、病因論、病理学総論、臨床検査医学、内科系疾病論、外科系疾病論、老年系疾病論、小児系疾病論、母性系疾病論、精神・神経系疾病論、薬理学などの 13 科目を配置している。特に病因論や臨床検査医学については、その演習を選択科目として設け、知識の一層の定着を目指している。

「健康援助の学」は、人間の健康と自然・社会・文化的環境の関わりに関する最も包括的な科学的知識を修得するための領域であり、臨床心理学、人間関係論、社会福祉学、家族社会学、英語文化特論、保健医療統計学、医療概論、保健医療福祉論、公衆衛生学、健康管理学総論、保健医療情報学、保健医療情報処理などの 19 科目を配置している。

多様な価値観を持つ看護の対象の理解を深めるために、臨床心理学では臨床心理学的援助の理解、人間関係論では援助的コミュニケーション能力の修得を目指している。また、地域の国際化に対応するために、英語文化特論では異文化コミュニケーション能力の修得を目指している。さらに、社会福祉学や家族社会学、医療概論や保健医療福祉論では、健康援助のための社会的資源の活用や他職種との連携・協働に向けた基礎的知識の修得を目標としている。保健医療情報処理ではその演習も必修とすることで、保健医療に関する情報処理能力の定着を目指している。

## (3) 専門科目群

総合看護学領域、臨床看護学領域、広域看護学領域、看護の統合と探究領域の 4 つの

看護領域で構成されている。

学生の学習進度が進むにしたがって、看護に関する専門的な知識、高い看護実践能力および看護専門職業人としての倫理観および態度を修得するように構成され、最終年次では、看護の統合と探究領域の科目である、看護の統合と実践を必修科目として提供する。看護の統合と実践は、演習と学内実習から成り立っている。ここでは看護実践能力の育成を強化するために、今までに学習した専門的な知識・理論と技術、専門職業人としての倫理観、態度を統合させ、卒業前の看護実践能力の確認、定着を図り、看護実践の総合的な能力を高めることを目指している。

### ①総合看護学領域

総合看護学領域は、全般的な看護の概念について学習し、看護専門職としての責任、倫理をはじめ、看護の本質や看護学の基盤となる知識を学習するとともに、看護マネジメントについて探求する領域である。この看護領域は、基礎看護学、看護管理学で構成されている。

基礎看護学では、看護学原論、看護倫理と理論、看護アセスメント論、看護過程論、生活援助技術論、診療援助技術論、初期体験看護実習、基礎看護学実習の8科目を設定し、看護学の基礎となる看護の概念や看護理論および看護の対象について学ぶとともに、看護専門職業人としての倫理観や倫理的態度、看護援助を提供する理論と方法について教授・学習する。特に、実践能力育成の強化を目指し、生活援助技術論や診療援助技術論を各3単位として設定し、基礎看護技術教育の充実を目指している。看護管理学では、看護管理学概論、看護管理方法論、看護管理学実習の3科目を設定した。ここでは、わが国のヘルスケア提供システムを理解し、看護サービスと効率性、リスクマネジメントをはじめ看護マネジメントや人的資源管理の方法について、将来管理的視点を持って、看護の指導者として活動するための基本的理論や方法を修得する。特によりよい看護サービスを提供するために、医療事故などの事例分析を通してリスクマネジメントの理論や方法の学習を強化する。

### ②臨床看護学領域

臨床看護学領域は、看護の対象を母性・小児・成人のライフステージによって分け、各対象の身体的・心理的・社会的特性や共通性と個別性を考慮したうえで、健康の保持増進・予防・健康回復への援助や、治療困難な人への援助について修得する領域である。この領域は、母性看護学、小児看護学、成人看護学で構成されている。

母性看護学では、母性看護学概論、母性看護方法論、周産期看護方法論、母性看護学実習の4科目を設定し、さらに、母性と助産の1科目を選択科目として設定し、女性のライフサイクル各期の健康問題とその看護の方法を学ぶとともに、母性自身のセルフケア能力を高めるための看護援助を探究することを目指している。

小児看護学では、小児看護学概論、小児発達援助論、小児看護方法論、小児発達援助実習、小児看護学実習の5科目を設定した。ここでは、少子化時代における小児を取り

巻く社会情勢や環境の変化に伴う小児看護の役割を学び、さまざまな健康状態にある小児および家族に対して、最もよい健康状態を保ち、よい成長発達をとげるような看護援助について学習する。

成人看護学では、成人期にある人々の特徴と健康問題、ならびに慢性疾患を持つ成人の理解や、手術療法を受け心身のストレス・危機を体験する成人の理解を通して、セルフケアの確立をめざした看護援助の理論や方法について学習する。そのために、成人急性期看護学概論、周術期看護方法論、成人急性期看護方法論、成人慢性期看護学概論、リハビリテーション看護方法論、成人急性期看護学実習、成人慢性期看護学実習、成人看護学総合実習の9科目を設定している。

### ③広域看護学領域

広域看護学領域では、グローバルな視点から看護を取り巻く環境や、集団、地域社会について理解を深めるとともに、わが国の高齢社会における人々の精神的・身体的・社会的な諸問題に対応する看護活動の方法について探究する。この看護学領域は、地域・在宅看護学、老年看護学、精神看護学から構成されている。

地域・在宅看護学では、地域看護学概論、地域看護活動展開論、地域生活支援論、特定集団支援論、地域看護管理論、地域看護学実習、在宅看護学概論、在宅看護方法論、在宅看護学実習の9科目を設定している。ここでは、地域や在宅で生活している人々について理解を深め、健康課題や生活上のニーズを把握するとともに、地域看護活動の展開や在宅における看護援助に必要な理論と方法について学習する。

老年看護学では、老年看護学概論、老年生活援助論、老年看護方法論、老年生活援助実習、老年看護学実習の5科目を設定し、高齢者の健康の概念やヘルスプロモーションの概念と実践について学習を深める。さらに、健康障害を持つ高齢者とその家族に対する看護援助の方法、および医療・保健・福祉施設における援助についても探究する。

精神看護学では、精神看護学概論、精神看護方法論、精神看護技術論、地域精神看護学実習、精神看護学実習の5科目を設定している。ここでは、精神的健康を人間のウェルネスから不健康にいたるスペクトラムとして理解し、精神障害を体験している人々へのセルフケアに焦点を当てた看護援助と看護実践活動に必要な基礎的理論を学習する。

### ④看護の統合と探究領域

看護の統合と探究領域は、看護実践能力の育成の強化と、既習の知識・技術・態度を統合して、国際性豊かな質の高い看護専門職業人の育成をめざして設定している。したがって、この領域は看護の統合と実践、卒業研究から構成されている。

看護の統合と実践では、フィジカルアセスメント、応用看護技術論：成人、応用看護技術論：母性・小児、応用看護技術論：老年・在宅、看護の統合と実践の5科目を設定し、さらに、国際保健・看護学、家族と看護、総合講義：死と看護、総合講義：法と看護の4科目を選択科目として設定している。特に各応用看護技術論や、フィジカルアセスメントでは、学習した知識と実践の統合を図り、基礎看護学で修得した基礎看護技術

をさらに応用、発展させ、理論的根拠を備えた看護実践能力を修得する。看護の統合と実践では、既習の知識・技術・態度を統合させ、卒業前の看護実践能力の確認、定着を図り、看護専門職業人としての倫理的態度やリスクマネジメント能力をはじめ看護実践の総合的能力を高めることを目指している。

卒業研究では、看護学への関心を深め、創造性、独自性、自己啓発能力の育成とともに、研究活動を通じて研究的態度を身につけ、それぞれ選択した看護領域の専門的理解を深める機会とする。

## 5 教員組織の編成の考え方及び特色

本学部の専任の教員組織については、統合前の県立看護大学看護学部の教員組織を引き継いでおり、保健師・看護師の専門職業人の育成のため、その教員の配置にあたっては、研究的、教育的に力量のある教員を配置している。

専任教員の人数は教授が20名、准教授・講師が15名、助教18名であり、次世代を担う教員の育成を視野に入れ、特定の年齢層に偏ることのないよう配慮している。

専門基礎・関連科目群では、医学博士や理学博士の学位を有している者6名、社会学修士や教育学修士、工学修士の学位を有している者4名を配置し、「人体の構造と機能の学」「疾病と治療の学」「健康援助の学」の科目を教授する。さらに専門科目群では、医学や看護学、保健学の博士の学位を有している者14名、看護学や教育学、国際学の修士の学位を有している者25名を配置し、総合看護学、臨床看護学、広域看護学、看護の統合と探究に関する科目を教授し、看護学に関する高等教育の質を保証するように教員配置をしている。さらに、専門科目の教員については、看護専門職業人の育成という看護学部の特殊性から、看護の実務経験として3年以上を有していることを条件に加え採用している。

看護学部では、1年次の共通教育の全てと専門教育の一部を長久手キャンパスで実施し、2年次からの専門教育は守山キャンパスで実施するが、共通教育を担当する教員は、その大半を長久手キャンパスを拠点とする他学部にも所属する専任教員を配置し、2つのキャンパスの移動による教員負担や学生への指導に支障がないようにしている。さらに看護学部に属する専任教員で共通教育を担当する教員、および専門科目の一部を担当する教員に対しては、守山キャンパスでの教育に支障がない時間帯を確保して時間割を作成するとともに、教員の移動手段として、タクシー利用についても予算化し、教員の負担や学生指導に支障がないように体制を整えている。

## 6 教育方法、履修指導方法及び卒業要件（資料3～5）

本学部では、学生個々の主体性、自立性を育み、豊かな人間性と幅広い視野を養うこと、さらに社会で生活する人間の理解を深め、生命の尊厳を理解し、科学的視点および看護専門職業人としての倫理観を備えて、看護の実践ができる専門職業人を育成する。

そこで、学部・学年を超えた学生間の幅広い交流を促進し、学生の主体性、自立性を育成するため、全学共通科目を全学で開講し、学生が受講しやすいように科目を配置している。また、人間、健康、看護の理解を深めるために、必要な知識を体系的に学習できるようにカリキュラムを構成し、早期から看護に関心をもたせるように1年次から看護専門科目を配置している。

本学部では、126単位の修得が卒業要件となる。全学共通科目の卒業要件として、3科目8単位を必修、12単位を選択とし、合計20単位を卒業要件としている。その履修の必要性や履修方法については、履修モデルを提示し、他分野、他領域の幅広い科目の中から、将来の職業選択に向けて役立つような科目選択が望ましいことなどを、科目履修のガイダンスの場で説明・指導することとしている。必修科目として設定している情報処理Aでは、コンピュータの基本的な操作方法を修得する科目であること、英語Iでは、英語を用いた総合的コミュニケーション能力の基盤を養う科目であること、さらに、スポーツ実習では、生涯にわたり心身の健康維持、増進をはかるために必要な基礎知識およびスポーツ技能を学習する科目であることなどを、シラバスや科目履修に関するガイダンスで説明する。

さらに、「教養科目」からの12単位の選択については、履修モデルを提示し、看護専門職業人に期待される人間性を培うために必要な科目を、選択履修するようにシラバスや科目履修のガイダンスを通して指導を行なう。

看護師養成の履修モデルをもとに、日常の自然言語の中に潜んでいる論理構造を自らの思考力で解明・分析し学生の論理的思考を育成することを目的としている論理学や、身の回りの自然現象や人工的な現象など、様々な現象を科学的に捉えることについて学ぶ物理学や、国際関係をめぐる理論と実際について学ぶ国際関係、近現代社会において生起するさまざまな倫理的問題について考察し、現代社会においていかに生きるのかを考える視点を修得することができる倫理学、統計情報を適切に見ることができるように統計手法の知識と技術を修得することができる統計学、科学という人間の知的活動を概説し、科学、技術を正確に理解し、文明を冷静に批判することについて学ぶ科学技術と人間・社会などの科目を履修することは、看護専門職業人としての人間性を培う上で役立つことを説明する。また、保健師養成の履修モデルをもとに、地域の健康生活に貢献できる保健師に必要な能力として、前述した科目に加え、コミュニティにおけるよりよいコミュニケーションのあり方について学ぶことができるコミュニティにおけるコミュニケーションなどの科目を選択し学習することも、将来の職業選択に役立つことを説明する。

このような履修方法の指導をとおして、学生が主体的、自立的に自分自身の学習計画を立て、学習できるように指導する。

専門基礎・関連科目では、33単位が卒業要件である。人体と構造と機能の学分野から5単位、疾病と治療の学分野から14単位、健康援助の学分野から14単位を履修するようになっている。人体の構造と機能の学分野からは、人体解剖学、人体組織学、人体生理学、栄養代謝学、生命と化学の5科目を必修にし、人体の構造と機能に関する基礎的知



識を修得する。疾病と治療の学分野からは、病因論をはじめ病理学総論、病理学各論、臨床検査医学、薬理学や内科系・外科系・老年系・小児系・母性系・精神・神経系の各疾病論の11科目を必修にし、看護の対象である人々の健康障害に関する基礎的知識や最新の治療などについて学習する。

健康の援助の学分野では、臨床心理学、社会福祉学、家族社会学、保健医療統計学、医療概論、保健医療福祉論、衛生行政論、公衆衛生学、健康管理学総論、及び健康管理学各論、保健行動論、疫学、保健医療情報学、保健医療情報処理の14科目を必修にし、これらの履修をとおして看護学の目的である人々の健康についての学習を多方面から探求することができる。

専門科目では、従来よりも看護専門職業人としての倫理観およびリスクマネジメント能力の育成、実践能力の育成を強化するような科目構成を行い、73単位を卒業要件としている。看護専門職業人としての倫理観の育成には、1年次から看護実践を支える倫理的態度について考えさせるように、看護倫理と理論の科目を設定した。また、リスクマネジメント能力の育成には、医療事故防止や体制などについて考えさせるように看護管理概論、看護管理方法論の科目を設定した。実践能力の育成については、本学部で学習させたい看護技術を、基礎から応用へと有機的な関連を意識して看護技術を修得するように科目を設定し、学生が履修しやすい科目配列をしている。基礎看護学では、フィジカル・イグザミネーションや看護アセスメントの基礎的内容を学習することを目指して、看護アセスメント論を設定した。さらに、ここで学習した内容を、看護の統合と実践分野のフィジカルアセスメントで確実にフィジカル・アセスメント能力を修得するように関連づけている。また、基礎看護学の生活援助技術論、診療援助技術論で、看護技術の基礎的な技術を学習し、さらに看護技術を応用展開できるように、各応用看護技術論を履修する。応用看護技術論：成人では、成人看護学に関する看護技術を、応用看護技術論：母性・小児では小児看護学、母性看護学の看護技術を、応用看護技術論：老年・在宅では老年看護学、在宅看護学の看護技術を履修できるようにしている。これらの科目では、各看護学の方法論で学習した知識・理論を統合して行動化できるように演習や学内実習を中心に学習する。そして、4年次の後半に、看護の統合と実践を履修することで、既習の知識・理論と技術、専門職業人としての倫理観、リスクマネジメント能力や態度を統合させて、基礎的な看護実践能力を修得することができる。

指導方法の工夫として、専門基礎・関連科目、専門科目においては、講義のみではなく実習や視聴覚教材やシミュレーターを有効に活用した講義をはじめ、学内実習・臨地実習・演習を体系的に組み合わせて学習効果を高める。

履修指導方法としては、各授業科目のシラバスを作成し学生に示すことや科目履修に関するガイダンスを行うことを通して、授業の内容をあらかじめ把握させ、効果的・計画的に科目履修ができるように指導する。

## 7 施設、設備等の整備計画

本学部の施設、設備については、統合前の愛知県立看護大学及び（旧）愛知県立大学の施設・設備を有効に活用する。看護学部の1年次の教育を、長久手キャンパスにある（旧）愛知県立大学の施設で行なうために、共通教育に使用する教室数を増設する。さらに看護学部の専門教育を行なうための専用教室を設置する。また、看護学部生用の自習室・ロッカーの配置や図書館内に看護学関連の図書整備を行い、学習環境を整備する。

2年次から4年次の教育は、守山キャンパスにある愛知県立看護大学などの施設・設備を使用するが、90人の学生数に対応できるように整備を行なう。特に、本学部では、実践能力の育成を強化することに伴い、基礎看護学や成人看護学、小児看護学、母性看護学の実習室を整備し、共有スペースを拡張するとともに、モデル人形をはじめシミュレーターなどの機器を購入し、学生が主体的に看護技術やフィジカル・アセスメントについて学習できるように整備する計画である。

図書館については、愛知県立看護大学の図書館の設備を継承する。愛知県立看護大学の図書館は、看護の単科大学であったことから看護学に関する図書の冊数は愛知県内の他大学の図書館より充実しており、電子ジャーナルや閲覧室、閲覧席数に関しても整備されていることより、学生の教育研究に支障はない。

## 8 入学者選抜の概要

本学部では、21世紀の国際社会、少子高齢社会において活躍する優秀な看護専門職を育成するために、看護に関心があり積極的に学習する意欲がある人、人間や人間を取り巻く社会の変化に関心をもっている人、基礎的学力（特に日本語力と英語力）および論理的思考力をそなえている人を求めている。このようなアドミッション・ポリシーに従って選抜試験を実施する。

選抜試験は、一般選抜に加えて特別選抜（推薦、社会人・帰国子女、私費外国人留学生）を実施し、多様な学生を受け入れることとする。

### （1） 一般選抜

一般選抜では、基礎学力を有した学生を受け入れるために、大学入試センター試験と個別学力試験を課し、入学者を選抜する。

### （2） 特別選抜

特別選抜では、一般選抜に加え、多様な個性と能力を有し、看護学に興味を持っている者を受け入れる。

なお、この特別選抜においては、大学入試センター試験を免除している。

推薦入試では、愛知県内の高等学校長の推薦した生徒（1校につき2名以内）に対して、本学部が実施する小論文と面接により総合的に判断し選抜する。

社会人・帰国子女特別選抜では、多様な経歴の学生を受け入れるため、調査書等の出願書類及び小論文、面接により総合的に判断し選抜する。

なお、社会人入学の社会人は、入学時に満 23 歳に達していること及び社会人の経歴を 3 年以上有することを条件としている。

私費外国人留学生特別選抜では、出願書類及び小論文と面接さらに日本語留学試験結果を含めて総合的に判断し選抜する。

## 9 資格取得を目的とする場合

本学部においては、以下のような資格や受験資格の取得が可能である。

### (1) 取得可能な資格

- ・看護師国家試験受験資格
- ・保健師国家試験受験資格

### (2) 実習の具体的計画（資料 6～11）

#### ①実習先の確保の状況

本学部では、講義及び学内実習で得たさまざまな知識や技術、態度を統合する場として臨地実習を重視し、卒業時には基礎的な看護実践能力を発揮できることを目標とし、各看護学実習を設定している。

1 年次では、看護を学ぶうえで初学者である学生が、患者とのかかわりを通して患者のニーズや療養環境および看護職はじめ他職種の機能と役割を知り、看護を学ぶ動機づけとすることを目指して、初期体験看護実習を設定している。2 年次では、基礎看護学実習を設定し、初めて患者を受け持ち、患者を生理的・心理的・社会的に理解するとともに、その状況にあった看護の一部を展開することを目指している。また、健康な小児の発達段階や日常生活を理解し、小児への援助ができる基礎的能力を育成することを目指して、小児発達援助実習を設定している。

3 年次では、成人急性期看護学実習、成人慢性期看護学実習、小児看護学実習、老年生活援助実習、精神看護学実習、在宅看護学実習の 6 科目を設定し、連続実習にならないように計画している。これらの臨地実習のねらいを到達するにふさわしい実習施設として、愛知県がんセンター中央病院、名古屋第一赤十字病院、愛知県立城山病院、春日井市民病院、愛知県心身障害者コロニー中央病院、あいち小児保健医療総合センターや訪問看護ステーションなどが確保できている。

4 年次前期では、母性看護学実習、老年看護学実習、地域看護学実習、地域精神看護学実習、成人看護学総合実習、看護管理学実習の 6 科目を設定している。母性看護学実習は、少子時代における母子を取り巻く環境および対象のニーズにあった母子への継続的支援の実際を学習するために、みわレディースクリニックをはじめ、7 箇所

の助産院、春日井市子育て支援センターなどの確保ができています。また、地域看護学実習では、地域で暮らす人々のヘルスニーズを把握し、人々の健康な暮らしを支援する活動を学ぶために、愛知県保健所および名古屋市保健所の計 38 箇所の保健所および 18 箇所の市町村保健センターの確保ができています。

これらの実習施設での学生配置は、少人数のグループ編成をとり、一人ひとりの学生ができるだけ多くの経験ができるように計画をしている。また、これらの実習施設には、効果的な実習を展開するため、カンファレンス室の確保や教育施設の充実とあわせ、実習内容に関連する図書を大学で用意し設置している。

なお、各実習施設において、実習生の受け入れについては承諾を受けている。

## ②実習水準の確保の方策

実習内容の質の確保については、実習機関との日常的な連携に加えて、実習開始前に実習に関連する病棟と実習連絡会を開催し、学生のレディネス、実習目的・目標、実習方法、実習記録に関する説明を行い、教員と臨地実習指導者間の指導方針・指導内容の共有化を図る。さらに、実習スケジュール、実習の到達度について病棟の指導看護師と打ち合わせし連携を強化する。また、実習終了後には実習連絡会にて実習指導のまとめを行い、よりよい実習にむけてフィードバックを行う。

## ③実習先との連携体制

実習の円滑な実施を目的とした実習連絡会議や実習打ち合わせ会を実習開始前に実施し、実習終了後には実習目標の到達状況について実習評価会やまとめの会を実施し、よりよい実習にむけての調整および連携を行う。

この連絡会議などは、教育の一端を担う臨地実習指導者と教員の間で行われ、実習指導体制・指導方法等についての協議の場とする。

## ④実習施設との取り決め（資料 8～9）

実習施設において、本学部学生の看護学実習指導を依頼する際には、「看護学実習指導業務委託契約書」に基づき、実習施設側と本学部との間で看護学実習指導業務委託契約を締結する。契約の証として、契約書 2 通を作成し、愛知県公立大学法人と、看護学実習を受託する実習施設が、それぞれ 1 通を保管する。さらに、個人情報の取り扱いに関しては、愛知県公立大学法人が定めている「個人情報保護に関する特約条項」に基づき実施する。

具体的には、実習開始前の連絡会議や打ち合わせ会の場で、本学部の実習倫理方針を説明し実習施設側との共有化を図る。特に、個人を特定する情報は実習記録には記載しないことや、学生は実習中知り得た内容を決して外部にもらさないこと、学生は実習中知り得た内容を学習の目的以外に使用しないこと、患者は学生が担当になることを拒否することもでき、そのことにより不利益を受けることはないこと、同意をした後でも断ることができることなどを記載した用紙を配布して、学生指導を行うと

もに実習施設にも理解を得る。

同意書の管理については、実習施設と調整を行い施設側の意向を尊重し対応するが、同意書を2部作成し、その1部は患者が管理し、もう一部は実習施設側が管理する。

実習記録類の取り扱いについては、実習記録の患者名は匿名化し、病院・病棟名は記載しないこと、実習中のメモなどは実習終了時にシュレッダーにて破棄するように指導し、教員が責任をもって確認する。実習終了後の実習記録類の管理は、各看護学領域の科目責任者が学習内容と患者データを区分し、患者データは教員が責任をもって廃棄処分とする。

#### ⑤教員配置並びに巡回指導計画（資料10）

本学部では、既習の知識・技術・態度を統合する実践の場として臨地実習を重視していることから、専任教員はじめ実習指導員、ティーチングアシスタント（TA）が毎日実習施設に出向き指導にあたることを方針としている。TAは、単位認定教員とともに学生指導に関わり、単位認定教員のサポートを行う。実習開始前には、専任教員が実習指導員、TAに対して、実習指導目標、実習指導方法に対する説明を行い、学生に対する実習指導内容の統一を図る。

初期体験看護実習や、基礎看護学実習では、1～2病棟を一人の専任教員が担当するために、教授、准教授、実習指導員、TAの合計10～12名を配置する。成人急性期看護学実習や、成人慢性期看護学実習、小児看護学実習、在宅看護学実習、母性看護学実習、地域看護学実習、老年看護学実習、精神看護学実習などでは、1病棟または1施設を一人の助教が担当し毎日実習施設に出向き指導にあたる。さらに教授、准教授、講師は、週に1～2回以上は実習施設に出向き、直接指導にもあたる。そのため本学部では、教授はじめ准教授、講師、助教の全教員が臨地実習指導に携わるように配置している。

#### ⑥実習施設における指導者等の配置計画（資料11）

実習施設側には、教員養成講習会や臨地実習指導者講習会を受講済みの看護師を中心に臨地実習指導を依頼する。さらに、各病棟に常に1名以上の臨地実習指導者を配置し、臨地実習指導者が不在の時には、他の看護師や保健師が実習指導できるように計画的な配置を依頼する。

そのような実習指導者の決定・配置は実習施設側に委ねる。

#### ⑦成績評価・単位認定方法

実習の評価・単位認定は、各実習の目的・目標の達成度を評価表に基づき実施する。評価は、臨地実習指導者から収集した意見や、実習記録およびカンファレンスの参加度、実習中の態度などを評価材料として、専任教員はじめ実習指導員が協議を行い、最終的評価は単位認定教員が行う。評価結果は、知識面、技術面、態度面を含めて、個々の学生にフィードバックする。

### (3) 教育課程と指定規則等との対比表

「資料12」のとおり

#### 10 二つ以上の校地において教育を行なう場合の教育体制

看護学部は、1年次の前学期は、主として全学共通科目を長久手キャンパスで行うが、後学期は実習室などを使用する専門科目が配置されていることから、1週間のうち2日間は守山キャンパスで講義を行い、2年次～4年次の科目は守山キャンパスで講義を行う。

共通教育を担当する教員は、その大半を長久手キャンパスを拠点とする他学部にも所属する専任教員を配置し、教育体制に支障はないようにしている。また、看護学部にも属する専任教員で共通教育を担当する教員、および専門科目の一部を担当する教員は、長久手キャンパスで講義・演習を実施するが、守山キャンパスでの教育に支障がない時間帯を確保し時間割を作成している。

これに伴う、学生や教員の移動に関しては、すべての授業開始時間に支障のないスケジュールによって両キャンパス間を結ぶシャトルバスの運行を行う。これによって、両キャンパスの移動をスムーズに行うことができ、授業以外のオフィスアワーやサークル活動のための移動も円滑にできる。同様に、4年間を同じ場所から通学することができるため、学生への負担を極力少なくすることができる。

教員の移動についても上記シャトルバスを活用できるが、その他の業務への支障が生じないようにするための移動手段として、タクシーの利用についても予算化する。

長久手キャンパスの施設設備の整備としては、現長久手キャンパスに、看護学部生の増加に伴い、共通教育に使用する教室数を増設するほか、看護学部の専門教育を行うための専用教室を設置する。また、看護学部生用の自習室・ロッカーの設置、看護学部専任教員が長久手キャンパスで授業を行うための授業準備室の整備を行う。さらには、図書館内に看護学関連の図書整備を行い、1年次生の学習意欲を損なわないようにする。

事務体制については、両キャンパス間での事務処理・学生サービスを円滑に行うための新事務システムの導入を行い、種々の証明書等もいずれのキャンパスにおいても申請・受け取りが可能な体制を整備する。

守山キャンパスでは2年次～4年次の教育を行うが、現行の看護大学のキャンパスをそのまま使用するため、講義室や実習室、その他の施設・設備、教員の指導体制、事務体制についても、必要な体制は十分に整えられている。

以上のように、2校地で教育を実施することによって学生や教員に不利益を与えることがないように整備している。

#### 11 管理運営

愛知県立大学学則第12条の規定に基づき、看護学部には教授会を設ける。教授会は、教

授、准教授、および常勤の講師をもって構成し、1) 教育課程の編成に関すること、2) 学生の入学、卒業の認定・学位の授与、並びに休学、復学、退学等学籍の変更に関すること、3) 学生の厚生補導並びに賞罰に関すること、4) 学部長に付議された教員人事に関すること、5) 学部の教育研究に関する自己点検および評価に関すること 6) その他学部長から付議された教育または研究に関する重要なことを審議する。

教授会の開催頻度は月 1 回定例とし、その他学部長が必要と認めたときには臨時に開催する。

教授会には、カリキュラム、卒業研究などの事項にあたる教務委員会、看護学専門教育委員会、FD委員会、教育研究委員会、人事および予算関連事項にあたる総務委員会などの委員会を設け、教授会が効率的に進むようにする。

教授会では、全学的に設けられる教育研究審議会、また、主に全学共通科目を審議する教育研究センター、学生支援センター、看護実践センター、看護学術情報センターからの情報を報告し、構成員が共通の情報を共有できるように配慮する。さらに、議事録は助教にも配布され情報の共有化に努める。

また、学部長の下に看護学部の教員並びに学部・研究科学生が行う研究に対して倫理的配慮がなされているかについて審査する看護学部研究倫理審査委員会を置く。

## 12 自己点検・評価について

大学レベルにおいては、教育研究センター、学生支援センター、看護実践センター、看護学術情報センター、大学院のそれぞれが、目的を達成するために年度計画に照らして、自己点検・評価したものをまとめる。

特に、FDについては、学生による授業評価を含めて、自己点検・評価を行う。個々の教員レベルの自己点検・評価については、教育、研究、社会貢献、大学の管理運営の4領域で自己点検することとしている。

全体の総括は、学内の自己評価委員会が担当し、大学の教育研究活動の改善に役立てる。

## 13 情報の提供

大学のホームページで、学部・学科の概要、授業科目のシラバス、学部教員のプロフィール・研究テーマ等の情報を提供するほか、大学案内の作成やオープンキャンパス、高等学校への出張講義等においても情報提供を積極的に行う。

## 14 教員の資質の向上の方策

大学として教育の内容・方法の改善に組織的に取り組むことが重要であることから、全学的な連携のもとで実施してきている研修会・講演会・教員間の授業参観等のファカルティ・ディベロップメント（FD）活動で継続して取り組む。

本学部においても、文部科学省や各種団体等が主催するFDに関する研修会への参加

や学会活動参加などの奨励も積極的に行い、教員の資質の向上に努める。

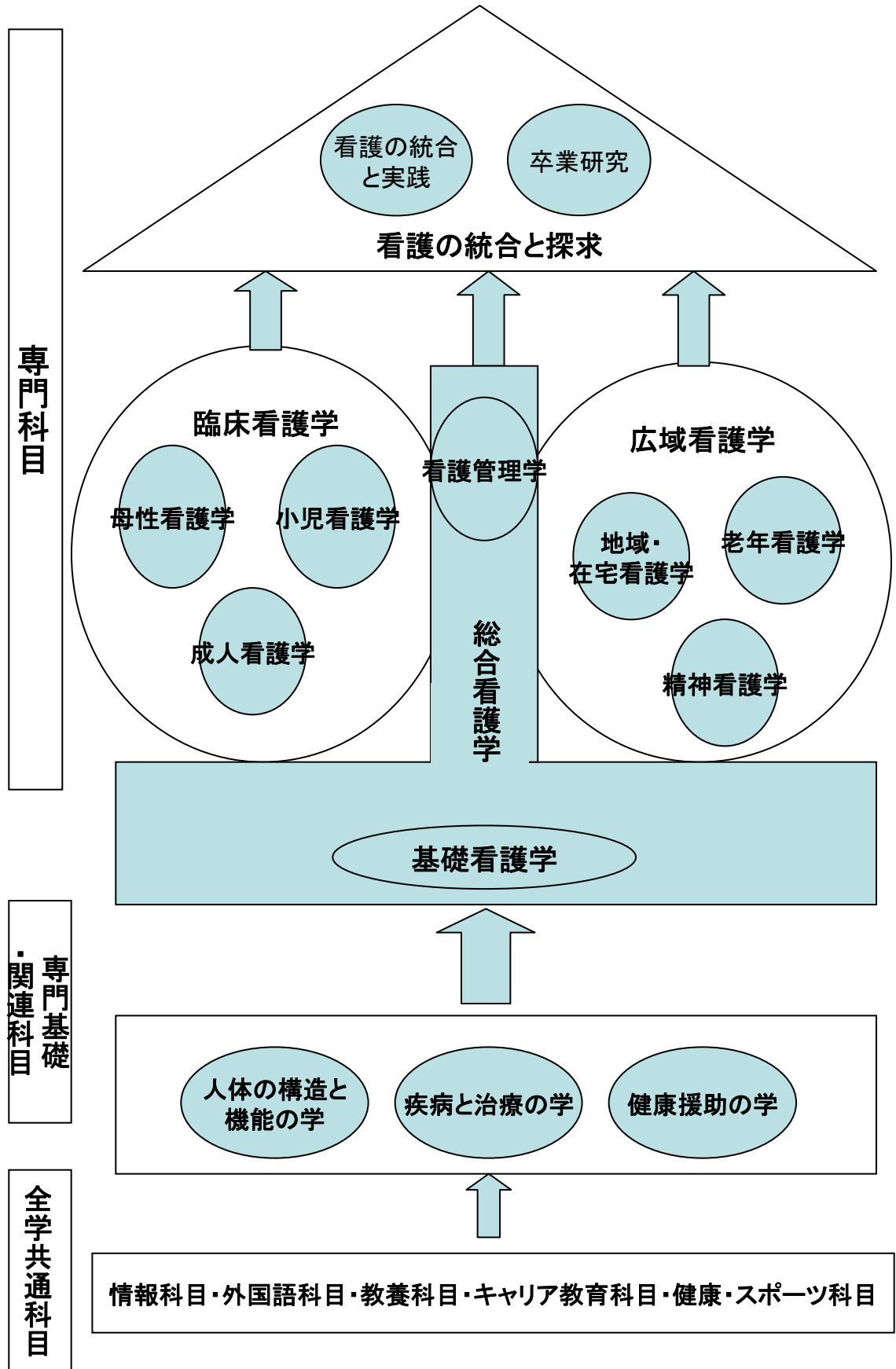
教育の内容・方法の改善に資するため、学生による授業評価を毎年行い、その結果については教員へフィードバックすることにより、教育の質の向上に活用させる。

研究面においては、競争的研究資金の獲得の奨励や学部研究課題プロジェクトの立ち上げ等により研究水準の維持・向上を図る。



## 看護学部資料一覧

資料番号	資料内容
1	看護学部の教育構造の概要
2	看護学部授業科目と担当教員
3	授業科目の進行表
4	21年度、22年度、23年度、24年度看護学部看護学科 時間割
5	履修モデル（看護師）、（保健師）
6	実習先の確保状況・実習施設一覧
7	愛知県立大学看護学部 実習計画
8	看護学実習指導業務委託契約書、
9	個人情報保護に関する特約条項
10	実習科目の概要及び教員配置・巡回指導計画
11	実習施設における指導者の配置計画（1年次、2年次、3年次、4年次）
12	教育課程と指定規則の対比表



看護学部授業科目と担当教員

資料2

区分	領域・分野	科目	必修科目	単位数	配当年次	担当教員
専門基礎・関連科目	人体の構造と機能の学	人体解剖学	*	1	1	星野洗非常勤講師
		人体組織学	*	1	1	越川卓教授
		人体生理学	*	1	1	時々輪浩穂非常勤講師
		人間機能学		1	1	時々輪浩穂非常勤講師
		栄養代謝学	*	1	1	米田雅彦教授
		生化学		1	1	米田雅彦教授
		生化学演習		1	3	米田雅彦教授
		分子生物学		1	4	米田雅彦教授
		人間工学		1	1	斉藤真非常勤講師
		生命と化学	*	1	1	米田雅彦教授・岡田悦政准教授
	疾病と治療の学	病因論	*	2	1	神谷和人教授
		病因論演習		1	3	神谷和人教授
		病理学総論	*	1	1	越川卓教授
		病理学各論	*	1	1	越川卓教授
		臨床検査医学	*	1	2	越川卓教授・橋本秀和教授
		臨床検査医学演習		1	4	越川卓教授・橋本秀和教授
		内科系疾病論	*	2	2	橋本秀和教授
		外科系疾病論	*	2	2	平井正文非常勤講師・沖高司非常勤講師・宮田完志非常勤講師・横田修一非常勤講師
		老年系疾病論	*	1	2	岡本和土教授
		小児系疾病論	*	1	2	宮崎修次非常勤講師
		母性系疾病論	*	1	2	萬羽進非常勤講師
		精神・神経系疾病論	*	1	2	村瀬真治非常勤講師
	薬理学	*	1	2	伊藤幹雄非常勤講師	
	健康援助の学	臨床心理学	*	1	2	赤塚大樹教授
		人間関係論		1	3	赤塚大樹教授
		社会福祉学	*	1	1	田中和男非常勤講師
		家族社会学	*	1	2	儘田徹教授
		看護英語		2	2	片岡由美子准教授
		英語文献講読		1	3	片岡由美子准教授
		英語文化特論		1	4	片岡由美子准教授
		保健医療統計学	*	1	2	箕浦哲嗣准教授
		医療概論	*	1	1	橋本秀和教授
		保健医療福祉論	*	1	2	牧野忠康非常勤講師
		衛生行政論	*	1	2	宮澤孝彦非常勤講師・高橋昇非常勤講師
		公衆衛生学	*	1	1	岡本和土教授
		健康管理学総論	*	1	2	岡田悦政准教授
		健康管理学各論	*	1	2	岡田悦政准教授
		臨床栄養学		1	3	岡田悦政准教授
		運動指導論		1	4	金尾洋治教授
		保健行動論	*	1	1	中山和弘非常勤講師
		疫学	*	1	3	岡本和土教授
	保健医療情報学	*	1	3	箕浦哲嗣准教授・太田勝正非常勤講師	
保健医療情報処理	*	1	3	箕浦哲嗣准教授		

区分	領域・分野	科目	必修科目	単位数	配当年次	担当教員	
専 門 科 目	総合看護学	看護学概論*		1	1	大津廣子教授	
		看護倫理と理論*		1	1	小松万喜子教授	
		看護アセスメント論*		1	2	大津廣子教授・曾田陽子准教授・佐藤美紀講師・田代ひろみ助教・水野美香助教・渡辺亜紀子助教	
		看護過程論*		1	2	小松万喜子教授・曾田陽子准教授・佐藤美紀講師・田代ひろみ助教・水野美香助教・渡辺亜紀子助教	
		生活援助技術論*		3	1	大津廣子教授・小松万喜子教授・曾田陽子准教授・佐藤美紀講師・田代ひろみ助教・水野美香助教・渡辺亜紀子助教	
		診療援助技術論*		3	1	大津廣子教授・小松万喜子教授・曾田陽子准教授・佐藤美紀講師・田代ひろみ助教・水野美香助教・渡辺亜紀子助教	
		初期体験看護実習*		1	1	大津廣子教授・小松万喜子教授・曾田陽子准教授・佐藤美紀講師・田代ひろみ助教・水野美香助教・渡辺亜紀子助教	
		基礎看護学実習*		2	2	大津廣子教授・小松万喜子教授・曾田陽子准教授・佐藤美紀講師・田代ひろみ助教・水野美香助教・渡辺亜紀子助教	
		看護管理学	看護管理学概論*		1	3	平井さよこ教授
			看護管理方法論*		1	4	平井さよこ教授・飯島佐知子准教授・賀澤（鈴木）弥貴助教
	看護管理学実習*			1	4	平井さよこ教授・飯島佐知子准教授・賀澤（鈴木）弥貴助教	
	母性看護学	母性看護学概論*		1	2	教授(就任予定)	
		母性看護方法論*		1	2	山口江利子講師	
		周産期看護方法論*		1	3	山口江利子講師	
		母性と助産		1	3	志村千鶴子講師	
		母性看護学実習*		2	4	教授(就任予定)・岡田由香教授・山口江利子講師・志村千鶴子講師・神谷摂子助教・緒方京助教	
	小児看護学	小児看護学概論*		1	2	山口桂子教授・服部淳子准教授	
		小児発達援助論*		1	2	山口桂子教授・服部淳子准教授	
		小児看護方法論*		1	3	山口桂子教授・服部淳子准教授	
		小児発達援助実習*		1	2	山口桂子教授・服部淳子准教授・赤松園子助教・寺菌さおり助教	
		小児看護学実習*		2	3	山口桂子教授・服部淳子准教授・赤松園子助教・寺菌さおり助教	
	成人看護学	成人急性期看護学概論*		1	2	鎌倉やよい教授・深田順子准教授	
		周術期看護方法論*		1	2	鎌倉やよい教授・深田順子准教授	
		成人急性期看護方法論*		1	3	鎌倉やよい教授・深田順子准教授	
		成人慢性期看護学概論*		1	1	片岡純教授	
		成人慢性期看護方法論*		1	2	廣瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師	
		リハビリテーション看護方法論*		1	3	廣瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師	
成人急性期看護学実習*			2	3	鎌倉やよい教授・深田順子准教授・吹田麻耶助教・森本紗磨美助教		
成人慢性期看護学実習*			2	3	廣瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師・生田美智子助教・田丸陽子助教		
成人看護学総合実習*			2	4	鎌倉やよい教授・深田順子准教授・廣瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師・吹田麻耶助教・森本紗磨美助教・生田美智子助教・田丸陽子助教		
広域看護学	地域・在宅看護学	地域看護学概論*		1	2	佐久間清美教授	
		地域看護活動展開論*		2	2	古田加代子准教授	
		地域生活支援論*		2	2	柳澤理子教授	
		特定集団支援論*		1	3	佐久間清美教授	
		地域看護管理論*		1	3	佐久間清美教授	
	地域看護学実習*		4	4	佐久間清美教授・柳澤理子教授・古田加代子准教授・興水めぐみ助教・伊藤亜希子助教		
	在宅看護学概論*		1	2	柳澤理子教授		
	在宅看護方法論*		1	3	古田加代子准教授		
	在宅看護学実習*		1	3	佐久間清美教授・柳澤理子教授・古田加代子准教授・興水めぐみ助教・伊藤亜希子助教		
	老年看護学	老年看護学概論*		1	2	百瀬由美子教授・松岡広子准教授	
		老年生活援助論*		1	2	百瀬由美子教授・松岡広子准教授	
		老年看護方法論*		1	3	百瀬由美子教授・松岡広子准教授	
		老年生活援助実習*		1	3	百瀬由美子教授・松岡広子准教授・藤野あゆみ助教・大澤ゆかり助教	
老年看護学実習*			2	4	百瀬由美子教授・松岡広子准教授・藤野あゆみ助教・大澤ゆかり助教		

区分	領域・分野	科目	必修科目	単位数	配当年次	担当教員		
専門科目	広域看護学	精神看護学概論*	*	1	2	岩瀬信夫教授		
		精神看護方法論*	*	1	2	山田浩雅講師		
		精神看護技術論*	*	1	3	岩瀬信夫教授・山田浩雅講師・三上勇氣助教・中戸川早苗助教		
		精神看護学実習*	*	2	3	岩瀬信夫教授・山田浩雅講師・三上勇氣助教・中戸川早苗助教		
		地域精神看護学実習*	*	1	4	岩瀬信夫教授・山田浩雅講師・三上勇氣助教・中戸川早苗助教		
	看護の統合と実践	看護の統合と探究	フィジカルアセスメント*	*	1	3	深田順子准教授・廣瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師・吹田麻耶助教・森本紗磨美助教・生田美智子助教・田丸陽子助教	
			応用看護技術論：成人*	*	1	2	鎌倉やよい教授・片岡純教授・深田順子准教授・廣瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師・吹田麻耶助教・森本紗磨美助教・生田美智子助教・田丸陽子助教	
			応用看護技術論：母性・小児*	*	1	3	教授(就任予定)・山口桂子教授・岡田由香教授・服部淳子准教授・山口江利子講師・志村千鶴子講師・神谷祺子助教・緒方京助教・赤松園子助教・寺菌さおり助教	
			応用看護技術論：老年・在宅*	*	1	3	佐久間清美教授・百瀬由美子教授・柳澤理子教授・古田加代子准教授・松岡広子准教授・興水めぐみ助教・伊藤亜希子助教・藤野あゆみ助教・大澤ゆかり助教	
			看護の統合と実践*	*	1	4	本学部看護系の教授、准教授、講師、助教の教員	
			国際保健・看護学		1	4	坂本真理子非常勤講師	
			家族と看護		1	4	山口桂子教授・儘田徹教授・橋本秀和教授・岡田由香教授・岩瀬信夫教授	
			総合講義：死と看護		1	4	橋本秀和教授・百瀬由美子教授・小松万喜子教授・片岡純教授	
			総合講義：法と看護		1	4	平井さよこ教授・佐久間清美教授・岡本和土教授・飯島佐知子准教授	
			卒業研究	看護研究方法論*	*	1	3	山口桂子教授・岡本和土教授・儘田徹教授
				卒業研究*	*	2	4	本学部の教授、准教授、講師の教員全員

専門基礎・関連科目、専門科目進行表

資料3

区分	領域・分野	科目	必修科目	単位数	時間数	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎・関連科目	人体の構造と機能の学	人体解剖学	*	1	30	■									
		人体組織学	*	1	30	■									
		人体生理学	*	1	30	■									
		人間機能学		1	30	■	■								
		栄養代謝学	*	1	30		■								
		生化学		1	30		■								
		生化学演習		1	30		■			■					
		分子生物学		1	30		■						■		
		人間工学		1	30		■								
		生命と化学	*	1	15	■									
	疾病と治療の学	病因論	*	2	60		■								
		病因論演習		1	30		■			■					
		病理学総論	*	1	30		■								
		病理学各論	*	1	30		■								
		臨床検査医学	*	1	30		■								
		臨床検査医学演習		1	30		■							■	
		内科系疾病論	*	2	60		■								
		外科系疾病論	*	2	60		■								
		老年系疾病論	*	1	30		■								
		小児系疾病論	*	1	30		■								
		母性系疾病論	*	1	30		■								
		精神・神経系疾病論	*	1	30		■								
		薬理学	*	1	30		■								
	健康援助の学	臨床心理学	*	1	30		■								
		人間関係論		1	30		■				■				
		社会福祉学	*	1	30	■									
		家族社会学	*	1	30		■								
		看護英語	2	60			■								
		英語文献講読		1	30		■								
		英語文化特論		1	30		■							■	
		保健医療統計学	*	1	30		■								
		医療概論	*	1	30		■								
		保健医療福祉論	*	1	30		■								
		衛生行政論	*	1	30		■								
		公衆衛生学	*	1	30	■									
		健康管理学総論	*	1	30		■								
		健康管理学各論	*	1	30		■								
		臨床栄養学		1	30		■							■	
	運動指導論		1	30		■							■		
	保健行動論	*	1	30		■									
	疫学	*	1	30		■									
	保健医療情報学	*	1	30		■									
	保健医療情報処理	*	1	30		■									
	総合看護学	看護学概論	*	1	30	■									
		看護倫理と理論	*	1	30		■								
		看護プロセス論	*	1	30		■								
		看護過程論	*	1	30		■								
		生活援助技術論	*	3	90		■								
		診療援助技術論	*	3	90		■								
		初期体験看護実習	*	1	45		■								
		基礎看護学実習	*	2	90		■								
		看護管理学	看護管理学概論	*	1	30		■							
			看護管理方法論	*	1	30		■							
			看護管理学実習	*	1	45		■							
母性看護学		母性看護学概論	*	1	30		■								
	母性看護方法論	*	1	30		■									
	周産期看護方法論	*	1	30		■									
	母性と助産		1	15		■									
	母性看護学実習	*	2	90		■									
小児看護学	小児看護学概論	*	1	30		■									
	小児発達援助論	*	1	30		■									
	小児看護方法論	*	1	30		■									
	小児発達援助実習	*	1	45		■									
	小児看護学実習	*	2	90		■									
成人看護学	成人急性期看護学概論	*	1	30		■									
	周術期看護方法論	*	1	30		■									
	成人急性期看護方法論	*	1	30		■									
	成人慢性期看護学概論	*	1	30		■									
	成人慢性期看護方法論	*	1	30		■									
	リハビリテーション看護方法論	*	1	30		■									
	成人急性期看護学実習	*	2	90		■									
	成人慢性期看護学実習	*	2	90		■									
広域看護学	成人看護学総合実習	*	2	90		■									
	地域看護学	地域看護学概論	*	1	30		■								
		地域看護活動展開論	*	2	60		■								
		地域生活支援論	*	2	60		■								
		特定集団支援論	*	1	30		■								
		地域看護管理論	*	1	30		■								
		地域看護学実習	*	4	180		■								
	在宅看護学	在宅看護学概論	*	1	30		■								
		在宅看護方法論	*	1	30		■								
		在宅看護学実習	*	1	45		■								
		老年看護学概論	*	1	30		■								
		老年生活援助論	*	1	30		■								
		老年看護方法論	*	1	30		■								
	精神看護学	老年生活援助実習	*	1	45		■								
		老年看護学実習	*	2	90		■								
		精神看護学概論	*	1	30		■								
		精神看護方法論	*	1	30		■								
	地域精神看護学	精神看護技術論	*	1	30		■								
精神看護学実習		*	2	90		■									
地域精神看護学実習		*	1	45		■									
看護の統合と実践	地域精神看護学実習	*	1	45		■									
	フィジカルアセスメント	*	1	30		■									
	応用看護技術論:成人	*	1	30		■									
	応用看護技術論:母性・小児	*	1	30		■									
	応用看護技術論:老年・在宅	*	1	30		■									
	看護の統合と実践	*	1	30		■									
	国際保健・看護学		1	30		■									
	家族と看護		1	30		■									
	総合講義:死と看護		1	30		■									
	総合講義:法と看護		1	30		■									
卒業研究	看護研究方法論	*	1	15		■									
	卒業研究	*	2	60		■									

■ 必修科目   ■ 選択科目   □ 臨地実習

## 21年度 看護学部看護学科 時間割

曜日	時限	前期		後期	
		1年生		1年生	
月	1限	全学共通科目		全学共通科目	
	2限	公衆衛生学 (岡本) (長) O002		成人慢性期看護学概論 (片岡純) (長) O002	
	3限	全学共通科目		全学共通科目	生化学 (米田) (長) B212
	4限	人体生理学 (時々輪) (長) O002		全学共通科目	人間工学 (斉藤) (長) B212
	5限	人体解剖学 (星野) (長) O002		全学共通科目	人体機能学 (時々輪) (長) O002
火	1限	人体組織学 (越川) (長) O002	病理学総論 (越川) (長) O002	病因論 (神谷) (守) 中講3	
	2限				
	3限	看護学概論 (大津) (長) O002			
	4限	生命と化学 (米田・岡田悦) (長) O002	栄養代謝学 (米田) (長) O002	生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講3	
	5限				
水	1限			Aクラス 英語 I (Tunmer・片岡由) (長) O002	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等
	2限	Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	Bクラス 英語 I (Tunmer・片岡由) (長) O002
	3限	社会福祉学 (田中) (長) O002		全学共通科目	
	4限				
	5限				
木	1限				
	2限	全学共通科目		病理学各論 (越川) (守) 中講3	
	3限	Aクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217	Bクラス 英語 I (Tunmer・片岡由) (長) O002	生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講3	
	4限	Aクラス 英語 I (Tunmer・片岡由) (長) O002	Bクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217		
	5限	全学共通科目			
金	1限	英語 I (小澤ほか) (長) O002		英語 I (小澤ほか) (長) O002	
	2限			医療概論 (橋本) (長) O002	
	3限	全学共通科目		全学共通科目	
	4限	全学共通科目		保健行動論 (中山) (長) O002	看護倫理と理論 (小松) (長) O002
	5限	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等			

※初期体験看護実習は、11/1と2/4～2/8に実施する。(1年後期)

※(長)は長久手キャンパスのことである。

※(守)は守山キャンパスのことである。

22年度 看護学部看護学科 時間割

曜日	時限	前期				後期			
		1年生		2年生		1年生		2年生	
月	1限	全学共通科目		成人急性期看護学概論 (鎌倉・深田) (守) 中講2		全学共通科目			
	2限	公衆衛生学 (岡本) (長) O002		臨床検査医学 (越川・橋本) (守) 中講2		成人慢性期看護学概論 (片岡純) (長) O002		小児看護学概論 (山口桂・服部) (守) 中講2	
	3限	全学共通科目		臨床心理学 (赤塚) (守) 中講2		全学共通科目	生化学 (米田) (長) B212	地域看護学展開論 (古田) (守) 中講2	
	4限	人体生理学 (時々輪) (長) O002		診療援助技術論 (曾田ほか) (守) 中講2		全学共通科目	人間工学 (斉藤) (長) B212		
	5限	人体解剖学 (梶野) (長) O002				全学共通科目	人体機能学 (時々輪) (長) O002		
火	1限	人体組織学 (越川) (長) O002	病理学総論 (越川) (長) O002	地域看護学概論 (佐久間) (守) 中講2				在宅看護学概論 (柳沢) (守) 中講2	
	2限			老年看護学概論 (百瀬・松岡) (守) 中講2		病因論 (神谷) (守) 中講3		精神看護学概論 (岩瀬) (守) 中講2	
	3限	看護学概論 (大津) (長) O002		精神看護学概論 (岩瀬) (守) 中講2				生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講3	
	4限	生命と化学 (米田・岡田悦) (長) O002		栄養代謝学 (米田) (長) O002		内科系疾病論 (橋本) (守) 中講2		家族社会学 (橋本) (守) 中講2	
	5限							母性看護学概論 (山口江) (守) 中講2	
水	1限			看護英語 (片岡由) (守) LL		Aクラス 英語 I (Tanner・片岡由) (長) O002	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	衛生行政論 (宮澤・高橋昇) (守) 中講2	
	2限	Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		老年系疾病論 (岡本) (守) 中講2		Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	Bクラス 英語 I (Tanner・片岡由) (長) O002	母性系疾病論 (萬羽) (守) 中講2	
	3限	社会福祉学 (田中) (長) O002		健康管理学総論 (岡田悦) (守) 中講2		全学共通科目		保健医療統計学 (箕浦) (守) 中講2	
	4限			精神・神経系疾病論 (村瀬) (守) 中講2				小児系疾病論 (宮崎) (守) 中講2	
	5限							看護英語 (片岡由) (守) LL	
木	1限							地域生活支援論 (柳沢) (守) 中講2	
	2限	全学共通科目		母性看護学概論 (教授就任予定) (守) 中講2		病理学各論 (越川) (守) 中講3			
	3限	Aクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217	Bクラス 英語 I (Tanner・片岡由) (長) O002	診療援助技術論 (曾田ほか) (守) 中講2		生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講3		小児発達援助論 (服部ほか) (守) 中講2	
	4限	Aクラス 英語 I (Tanner・片岡由) (長) O002	Bクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217					健康管理学各論 (岡田悦) (守) 中講2	
	5限	全学共通科目							
金	1限	英語 I (小澤ほか) (長) O002		薬理学 (伊藤幹) (守) 中講2		英語 I (小澤ほか) (長) O002		外科系疾病論 (平井正ほか) (守) 中講2	
	2限			内科系疾病論 (橋本) (守) 中講2		医療概論 (橋本) (長) O002		老年生活援助論 (百瀬・松岡) (守) 中講2	
	3限	全学共通科目		看護アセスメント論 (大津ほか) (守) 中講2	看護過程論 (小松ほか) (守) 中講2	全学共通科目		成人慢性期看護学概論 (広瀬・尾沼) (守) 中講2	
	4限	全学共通科目				保健行動論 (中山) (長) O002		看護倫理と理論 (小松) (長) O002	
	5限	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		外科系疾病論 (宮田ほか) (守) 中講2				応用看護技術論：成人 (鎌倉ほか) (守) 中講2	

※初期体験看護実習は、11/1と2/4～2/8に実施する。(1年後期)  
 ※基礎看護学実習は、10/1～10/12に実施する。(2年後期)  
 ※小児発達援助実習は、2/18～2/22に実施する。(2年後期)  
 ※(長)は長久手キャンパスのことである。  
 ※(守)は守山キャンパスのことである。



23年度 看護学部看護学科 時間割

曜日	時限	前期			後期						
		1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生				
月	1限	全学共通科目		成人急性期看護学概論 (鎌倉・深田) (守) 中講2	全学共通科目						
	2限	公衆衛生学 (岡本) (長) O002	臨床検査医学 (越川・橋本) (守) 中講2	小児看護方法論 (山口桂ほか) (守) 中講3	成人慢性期看護学概論 (片岡純) (長) O002		小児看護学概論 (山口桂・服部) (守) 中講2				
	3限	全学共通科目		臨床心理学 (赤塚) (守) 中講2	周産期看護方法論 (山口江) (守) 中講3	全学共通科目	生化学 (米田) (長) B212	地域看護活動展開論 (古田) (守) 中講2			
	4限	人体生理学 (時々輪) (長) O002	診療援助技術論 (曾田ほか) (守) 中講2	保健医療情報学 (太田・箕浦) (守) 中講3	応用看護技術論：母性・小児 (山口桂ほか) (守) 中講3	全学共通科目	人間工学 (斎藤) (長) B212				
	5限	人体解剖学 (星野) (長) O002				全学共通科目	人体機能学 (時々輪) (長) O002				
火	1限	人体組織学 (越川) (長) O002	病理学総論 (越川) (長) O002	地域看護学概論 (佐久間) (守) 中講2	疫学 (岡本) (守) 中講3			在宅看護学概論 (柳沢) (守) 中講2			
	2限			老年看護学概論 (百瀬・松岡) (守) 中講2	精神看護技術論 (岩瀬ほか) (守) 中講3	病因論 (神谷) (守) 中講3		精神看護方法論 (山田) (守) 中講2			
	3限	看護学概論 (大津) (長) O002		精神看護学概論 (岩瀬) (守) 中講2	リハビリテーション看護方法論 (尾沼・広瀬) (守) 中講3			周産期看護方法論 (鎌倉・深田) (守) 中講2			
	4限	生命と化学 (米田・岡田悦) (長) O002	栄養代謝学 (米田) (長) O002	内科系疾病論 (橋本) (守) 中講2	老年看護方法論 (百瀬・松岡) (守) 中講3	生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講3		保健医療福祉論 (牧野) (守) 中講2			
	5限			家族社会学 (徳田) (守) 中講2	人間関係論 (赤塚) (守) 中講3			母性看護方法論 (山口江) (守) 中講2			
水	1限			看護英語 (片岡由) (守) LL			Aクラス 英語1 (Turner・片岡由) (長) O002	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	衛生行政論 (宮澤・高橋昇) (守) 中講2	成人慢性期看護学実習 (10/1~2/1)	
	2限	Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		老年系疾病論 (岡本) (守) 中講2			Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	Bクラス 英語1 (Turner・片岡由) (長) O002	母性系疾病論 (萬羽) (守) 中講2	成人急性期看護学実習 (10/1~2/1)	
	3限	社会福祉学 (田中) (長) O002		健康管理学総論 (岡田悦) (守) 中講2			全学共通科目		保健医療統計学 (箕浦) (守) 中講2	小児看護学実習 (10/1~2/1)	
	4限			精神・神経系疾病論 (村瀬) (守) 中講2					小児系疾病論 (百瀬) (守) 中講2	老年生活援助実習 (10/1~2/1)	
	5限									精神看護学実習 (10/1~2/1)	
木	1限			在宅看護方法論 (古田) (守) 中講3		特定集団支援論 (佐久間) (守) 中講3					
	2限	全学共通科目		母性看護学概論 (教授就任予定) (守) 中講2			病理学各論 (越川) (守) 中講3		地域生活支援論 (柳沢) (守) 中講2		
	3限	Aクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217	Bクラス 英語1 (Turner・片岡由) (長) O002	看護管理学概論 (平井さ) (守) 中講3				小児発達援助論 (服部ほか) (守) 中講2			
	4限	Aクラス 英語1 (Turner・片岡由) (長) O002	Bクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217	診療援助技術論 (曾田ほか) (守) 中講2	臨床栄養学 (岡田悦) (守) 中講3		生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講3		健康管理学各論 (岡田悦) (守) 中講2		
	5限	全学共通科目						看護英語 (片岡由) (守) LL			
金	1限	英語1 (小澤ほか) (長) O002		薬理学 (伊藤幹) (守) 中講2	病因論演習 (神谷) (守) 実験室4	生化学演習 (米田) (守) 実験室2	英語1 (小澤ほか) (長) O002		外科系疾病論 (平井正ほか) (守) 中講2		
	2限			内科系疾病論 (橋本) (守) 中講2	英語文献講読 (片岡由) (守) 中講2		医療概論 (橋本) (長) O002		老年生活援助論 (百瀬・松岡) (守) 中講2		
	3限	全学共通科目		看護マネジメント論 (大津ほか) (守) 中講2	看護過程論 (小松ほか) (守) 中講2	成人急性期看護方法論 (深田・鎌倉) (守) 中講3		全学共通科目		成人慢性期看護方法論 (広瀬・尾沼) (守) 中講2	
	4限	全学共通科目				Aクラス フィジカルアセスメント (深田ほか) (守) 中講3		保健行動論 (中山) (長) O002		看護倫理と理論 (小松) (長) O002	応用看護技術論：成人 (鎌倉ほか) (守) 中講2
	5限	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		外科系疾病論 (宮田ほか) (守) 中講2		Bクラス フィジカルアセスメント (深田ほか) (守) 中講3					

応用看護技術論：老年・在宅	3年前期
地域看護管理論	3年後期
看護研究方法論	3年後期
保健医療情報処理	3年後期

これらの科目は集中で行う。

※初期体験看護実習は、11/1と2/4~2/8に実施する。(1年後期)  
 ※基礎看護学実習は、10/1~10/12に実施する。(2年後期)  
 ※小児発達援助実習は、2/18~2/22に実施する。(2年後期)  
 ※(長)は長久手キャンパスのことである。  
 ※(守)は守山キャンパスのことである。

24年度 看護学部看護学科 時間割 (前期)

曜日	時限	1年生		2年生		3年生		4年生
月	1限	全学共通科目		成人急性期看護学概論 (鎌倉・深田) (守) 中講2				
	2限	公衆衛生学 (岡本) (長) O002		臨床検査医学 (越川・橋本) (守) 中講2		小児看護方法論 (山口桂ほか) (守) 中講3		
	3限	全学共通科目		臨床心理学 (赤塚) (守) 中講2		周産期看護方法論 (山口江) (守) 中講3		
	4限	人体生理学 (時々輪) (長) O002		診療援助技術論 (曾田ほか) (守) 中講2		保健医療情報学 (太田・箕浦) (守) 中講3	応用看護技術論：母性・小児 (山口桂ほか) (守) 中講3	
	5限	人体解剖学 (星野) (長) O002						
火	1限	人体組織学 (越川) (長) O002	病理学総論 (越川) (長) O002	地域看護学概論 (佐久間) (守) 中講2		疫学 (岡本) (守) 中講3		
	2限			老年看護学概論 (百瀬・松岡) (守) 中講2		精神看護技術論 (岩瀬ほか) (守) 中講3		
	3限	看護学概論 (大津) (長) O002		精神看護学概論 (岩瀬) (守) 中講2		リハビリテーション看護方法論 (尾沼・広瀬) (守) 中講3		
	4限	生命と化学 (米田・岡田悦) (長) O002		内科系疾病論 (橋本) (守) 中講2		老年看護方法論 (百瀬・松岡) (守) 中講3		
	5限			栄養代謝学 (米田) (長) O002		人間関係論 (赤塚) (守) 中講3		卒業研究 (4/2~4/13) (4/23~5/4) (5/21~5/25) (6/11~6/15) (7/2~7/6) (7/23~7/27) (9/17~9/28)
水	1限			看護英語 (片岡由) (守) LL				
	2限	Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		老年系疾病論 (岡本) (守) 中講2				地域看護学実習 (4/16~4/20) (5/7~7/27)
	3限	社会福祉学 (田中) (長) O002		健康管理学総論 (岡田悦) (守) 中講2				母性看護学実習 (5/7~7/27)
	4限			精神・神経系疾病論 (村瀬) (守) 中講2				地域精神看護学実習 (5/7~7/27)
	5限							成人看護学総合実習 (5/7~7/27)
木	1限					在宅看護方法論 (古田) (守) 中講3	特定集団支援論 (佐久間) (守) 中講3	老年看護学実習 (5/7~7/27)
	2限	全学共通科目		母性看護学概論 (教授就任予定) (守) 中講2				
	3限	Aクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217	Bクラス 英語 I (Tunner・片岡由) (長) O002	診療援助技術論 (曾田ほか) (守) 中講2		看護管理学概論 (平井さ) (守) 中講3		
	4限	Aクラス 英語 I (Tunner・片岡由) (長) O002	Bクラス 情報処理A (箕浦) (長) C217			臨床栄養学 (岡田悦) (守) 中講3		
	5限	全学共通科目						
金	1限	英語 I (小澤ほか) (長) O002		薬理学 (伊藤幹) (守) 中講2		病因論演習 (神谷) (守) 実験室4	生化学演習 (米田) (守) 実験室2	
	2限			内科系疾病論 (橋本) (守) 中講2				英語文献講読 (片岡由) (守) 中講2
	3限	全学共通科目		看護アセスメント論 (大津ほか) (守) 中講2	看護過程論 (小松ほか) (守) 中講2	成人急性期看護方法論 (深田・鎌倉) (守) 中講3		
	4限	全学共通科目				Aクラス フィジカルアセスメント (深田ほか) (守) 中講3		
	5限	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等		外科系疾病論 (宮田ほか) (守) 中講2		Bクラス フィジカルアセスメント (深田ほか) (守) 中講3		

時間割に含まれていない科目	
応用看護技術論：老年・在宅	3年前期
看護管理方法論	4年前期

これらの科目は集中で行う。

※ (長) は長久手キャンパスのことである。

※ (守) は守山キャンパスのことである。

24年度 看護学部看護学科 時間割 (後期)

曜日	時限	1年生	2年生	3年生	4年生	
月	1限	全学共通科目				
	2限	成人慢性期看護学概論 (片岡純) (長) O002		小児看護学概論 (山口桂・服部) (守) 中講 2		
	3限	全学共通科目	生化学 (米田) (長) B 212	地域看護活動展開論 (古田) (守) 中講 2	家族と看護 (山口桂ほか) (守) 中講 4	
	4限	全学共通科目	人間工学 (斎藤) (長) B 212			
	5限	全学共通科目	人体機能学 (時々輪) (長) O002			
火	1限		在宅看護学概論 (柳沢) (守) 中講 2	成人慢性期看護学実習 (10/1~2/1)  成人急性期看護学実習 (10/1~2/1)  小児看護学実習 (10/1~2/1)  老年生活援助実習 (10/1~2/1)  精神看護学実習 (10/1~2/1)  在宅看護学実習 (10/1~2/1)	卒業研究 (教授・准教授・講師の教員) (守) 担当教員研究室等	
	2限	病因論 (神谷) (守) 中講 3	精神看護方法論 (山田) (守) 中講 2			臨床検査医学演習 (橋本・越川) (守) 中講 4
	3限		周術期看護方法論 (鎌倉・深田) (守) 中講 2			
	4限	生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講 3	保健医療福祉論 (牧野) (守) 中講 2			
	5限		母性看護方法論 (山口江) (守) 中講 2			
水	1限	Aクラス 英語 I (Tunner・片岡由) (長) O002	Bクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	衛生行政論 (宮澤・高橋昇) (守) 中講 2		
	2限	Aクラス スポーツ実習 (金尾) (長) 体育館等	Bクラス 英語 I (Tunner・片岡由) (長) O002	母性系疾病論 (萬羽) (守) 中講 2		
	3限	全学共通科目		保健医療統計学 (箕浦) (守) 中講 2		
	4限		小児系疾病論 (宮崎) (守) 中講 2		看護の統合と実践 (看護系の教授・准教授・ 講師・助教の教員) (守) 各分野の実習室等	
	5限					
木	1限		地域生活支援論 (柳沢) (守) 中講 2	総合講義：死と看護 (小松ほか) (守) 中講 4  国際保健・看護学 (坂本) (守) 中講 4		
	2限	病理学各論 (越川) (守) 中講 3				
	3限	生活援助技術論 (佐藤ほか) (守) 中講 3	小児発達援助論 (服部ほか) (守) 中講 2			
	4限		健康管理学各論 (岡田悦) (守) 中講 2			
	5限		看護英語 (片岡由) (守) LL			
金	1限	英語 I (小澤ほか) (長) O002	外科系疾病論 (平井正ほか) (守) 中講 2	総合講義：法と看護 (平井さほか) (守) 中講 4		
	2限	医療概論 (橋本) (長) O002	老年生活援助論 (百瀬・松岡) (守) 中講 2			
	3限	全学共通科目		成人慢性期看護学方法論 (広瀬・尾沼) (守) 中講 2	英語文化特論 (片岡由) (守) LL	分子生物学 (米田) (守) 中講 4
	4限	保健行動論 (中山) (長) O002	看護倫理と理論 (小松) (長) O002	応用看護技術論：成人 (鎌倉ほか) (守) 中講 2		
	5限					

時間割に含まれていない科目	
地域看護管理論	3年後期
看護研究方法論	3年後期
保健医療情報処理	3年後期

これらの科目は集中で行う。

※初期体験看護実習は、11/1と2/4~2/8に実施する。(1年後期)

※基礎看護学実習は、10/1~10/12に実施する。(2年後期)

※小児発達援助実習は、2/18~2/22に実施する。(2年後期)

※(長)は長久手キャンパスのことである。

※(守)は守山キャンパスのことである。

# 履修モデル(看護師)

資料5

看護の専門的知識と高い看護実践能力を有し、専門職業人としての倫理的態度を備えた、国際性豊かな看護師を育成する。

授業科目区分		卒業要件 単位	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	
全学共通科目	情報科目	20	情報処理A	2							
	外国語科目		英語 I	4							
	教養科目		論理学 *	2					科学技術と人間・社会 *	2	
			統計学 *	2							
			倫理学 *	2							
			物理学 *	2							
健康・スポーツ科目	国際関係 *	2									
	スポーツ実習	2									
小計		20		18						2	
専門基礎・関連科目	人体の構造と機能の学	5	人体解剖学	1							
			人体組織学	1							
			人体生理学	1							
			栄養代謝学	1							
			生命と化学	1							
	疾病と治療の学	14	病因論	2	臨床検査医学	1					
		病理学総論	1	内科系疾病論	2						
		病理学各論	1	外科系疾病論	2						
				老年系疾病論	1						
				小児系疾病論	1						
				母性系疾病論	1						
				精神・神経系疾病論	1						
				薬理学	1						
健康援助の学	14	社会福祉学	1	臨床心理学	1	疫学	1				
		医療概論	1	家族社会学	1	保健医療情報学	1				
		公衆衛生学	1	保健医療統計学	1	保健医療情報処理	1				
		保健行動論	1	保健医療福祉論	1						
				衛生行政論	1						
				健康管理学総論	1						
				健康管理学各論	1						
小計		33		13		17		3		0	
専門科目	総合看護学	基礎看護学	13	看護学概論	1	看護アセスメント論	1				
				看護倫理と理論	1	看護過程論	1				
				生活援助技術論	3	診療援助技術論	3				
				初期体験看護実習	1	基礎看護学実習	2				
								看護管理学概論	1	看護管理方法論	1
					看護管理学実習	1	看護管理学実習	1			
	臨床看護学	母性看護学	5	母性看護学概論	1	母性看護学概論	1	周産期看護方法論	1	母性看護学実習	2
				母性看護学方法論	1						
		小児看護学	6	小児看護学概論	1	小児看護学概論	1	小児看護学方法論	1		
				小児発達援助論	1	小児発達援助論	1	小児看護学実習	2		
	成人看護学	12	成人慢性期看護学概論	1	成人急性期看護学概論	1	成人急性期看護学方法論	1	成人看護学総合実習	2	
					周術期看護学方法論	1	リハビリテーション看護学方法論	1			
					成人慢性期看護学方法論	1	成人急性期看護学実習	2			
							成人慢性期看護学実習	2			
広域看護学	地域・在宅看護学	14	地域看護学概論	1	地域看護学概論	1	特定集団支援論	1	地域看護学実習	4	
			地域看護活動展開論	2	地域看護管理論	1	在宅看護管理論	1			
			地域生活支援論	1	在宅看護学実習	1	在宅看護学実習	1			
老年看護学	6	老年看護学概論	1	老年看護学概論	1	老年看護学方法論	1	老年看護学実習	2		
		老年生活援助論	1	老年生活援助論	1	老年生活援助実習	1				
精神看護学	6	精神看護学概論	1	精神看護学概論	1	精神看護技術論	1	精神看護学実習	1		
		精神看護学方法論	1	地域精神看護学実習	2						
看護の統合と実践	看護の統合と実践	5	応用看護技術論：成人	1	応用看護技術論：成人	1	フィジカルアセスメント	1	看護の統合と実践	1	
					応用看護技術論：母性・小児	1					
					応用看護技術論：老年・在宅	1					
卒業研究	卒業研究	3			看護研究方法論	1	看護研究方法論	1	卒業研究	2	
小計		73		7		26		24		16	
合計		126		38		43		27		18	

\*：選択科目

選択：12単位 必修：114単位

合計126単位

## 履修モデル(保健師)

看護・保健に関する専門的知識と高い実践能力を有し、専門職業人としての倫理的態度と国際性を備えた、地域の健康生活に貢献できる保健師を育成する。

授業科目区分		卒業要件 単位数	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	
全学共通科目	情報科目	20	情報処理A	2							
	外国語科目		英語 I	4							
	教養科目		論理学 *	2						コミュニティにおけるコミュニケーション *	2
			統計学 *	2							
			倫理学 *	2							
			国際関係 *	2							
健康・スポーツ科目	科学技術と人間・社会 *	2									
	スポーツ実習	2									
小計		20		18						2	
専門基礎・関連科目	人体の構造と機能の学	人体解剖学	1								
		人体組織学	1								
		人体生理学	1								
		栄養代謝学	1								
		生命と化学	1								
	疾病と治療の学	14	病因論	2	臨床検査医学	1					
		病理学総論	1	内科系疾病論	2						
		病理学各論	1	外科系疾病論	2						
				老年系疾病論	1						
				小児系疾病論	1						
				母性系疾病論	1						
				精神・神経系疾病論	1						
				薬理学	1						
健康援助の学	社会福祉学	1	臨床心理学	1	疫学	1					
	医療概論	1	家族社会学	1	保健医療情報学	1					
	公衆衛生学	1	保健医療統計学	1	保健医療情報処理	1					
	保健行動論	1	保健医療福祉論	1							
			衛生行政論	1							
				健康管理学総論	1						
				健康管理学各論	1						
小計		33		13		17		3		0	
専門科目	総合看護学	基礎看護学	看護学概論	1	看護アセスメント論	1					
			看護倫理と理論	1	看護過程論	1					
			生活援助技術論	3	診療援助技術論	3					
			初期体験看護実習	1	基礎看護学実習	2	看護管理学概論	1	看護管理方法論	1	
							看護管理学実習	1	看護管理学実習	1	
	臨床看護学	母性看護学	母性看護学概論	1	母性看護学概論	1	周産期看護方法論	1	母性看護学実習	2	
			母性看護方法論	1							
		小児看護学	6	小児看護学概論	1	小児看護方法論	1				
			小児発達援助論	1	小児看護学実習	2					
			小児発達援助実習	1							
	成人看護学	成人看護学	成人慢性期看護学概論	1	成人急性期看護学概論	1	成人急性期看護方法論	1	成人看護学総合実習	2	
					周術期看護方法論	1	リハビリテーション看護方法論	1			
					成人慢性期看護方法論	1	成人急性期看護学実習	2			
							成人慢性期看護学実習	2			
	広域看護学	地域・在宅看護学	地域看護学概論	1	特定集団支援論	1	地域看護学実習	4			
			地域看護活動展開論	2	地域看護管理論	1					
地域生活支援論			2	在宅看護方法論	1						
老年看護学	老年看護学	老年看護学概論	1	老年看護方法論	1	老年看護学実習	2				
		老年生活援助論	1	老年生活援助実習	1						
精神看護学	精神看護学	精神看護学概論	1	精神看護技術論	1	精神看護学実習	1				
		精神看護方法論	1	地域精神看護学実習	2						
看護の統合と実践	看護の統合と実践	応用看護技術論：成人	1	フィジカルアセスメント	1	看護の統合と実践	1				
				応用看護技術論：母性・小児	1						
				応用看護技術論：老年・在宅	1						
	卒業研究	3		看護研究方法論	1	卒業研究	2				
小計		73		7		26		24		16	
合計		126		38		43		27		18	

\*：選択科目

選択：12単位 必修：114単位

合計126単位

実習先の確保状況・実習施設一覧及び承諾書

資料6

種類別	番号	実習施設名	所在地	実習科目	受入学生数	担当分野
医療機関	1	・名古屋第一赤十字病院	名古屋市中区道下町3-35	初期体験看護実習	30	基礎看護学
				基礎看護学実習	30	
				成人慢性期看護学実習	90	成人看護学
	2	・公立陶生病院	瀬戸市西追分町160	初期体験看護実習	24	基礎看護学
				基礎看護学実習	24	
	3	・愛知県がんセンター中央病院	名古屋市千種区鹿子殿1-1	成人急性期看護学実習	90	成人看護学
				成人看護学総合実習	90	
	4	・名古屋大学医学部付属病院	名古屋市昭和区鶴舞町65番地	看護管理学実習	45	看護管理学
	5	・中部労災病院	愛知県名古屋港区港明1丁目10番6号	看護管理学実習	45	
	6	・愛知県心身障害者コロニー中央病院	春日井市神屋町713-8	小児看護学実習	52	小児看護学
	7	・あいち小児保健医療総合センター	大府市森岡町尾坂田1番2	小児看護学実習	38	
	8	・大雄会第一病院	一宮市羽衣1丁目6-12号	母性看護学実習	32	母性看護学
	9	・春日井市民病院	春日井市鷹来町1丁目1-1	初期体験看護実習	36	基礎看護学
基礎看護学実習				36		
母性看護学実習				28	母性看護学	
老年看護学実習				90	老年看護学	
10	・みわレディースクリニック	小牧市小牧2丁目582	母性看護学実習	30	母性看護学	
11	・愛知県立城山病院	名古屋市千種区徳川山町4丁目1番7号	精神看護学実習	35	精神看護学	
			地域精神看護学実習	24		
12	・独立行政法人国立病院機構東尾張病院	名古屋市守山区大森北2丁目1301番地	精神看護学実習	35	精神看護学	
			地域精神看護学実習	16		
13	・医療法人八誠会 守山荘病院	名古屋市守山区町北11番50号	精神看護学実習	20	精神看護学	
			地域精神看護学実習	18		
訪問看護施設 (ステーション)	14	・訪問看護ステーション「たかつじ」	名古屋市昭和区円上町26番15号	在宅看護学実習	14~28	地域・在宅看護学
	15	・公立陶生病院(在宅医療室)	瀬戸市西追分町160	在宅看護学実習	14~28	
	16	・豊田厚生訪問看護ステーション	豊田市元城町3丁目17番地	在宅看護学実習	14~28	
	17	・訪問看護ステーション勝川	春日井市若草通り1丁目12番地	在宅看護学実習	14~28	
	18	・春日井市医師会訪問看護ステーション	春日井市柏原町5丁目387番地	在宅看護学実習	14~28	
	19	・訪問看護ステーション太陽・千種	名古屋市千種区千種2丁目22番1号	在宅看護学実習	14~28	
	20	・訪問看護ステーション太陽・高蔵寺	春日井市藤山台三丁目1番地の3	在宅看護学実習	14~28	
	21	・訪問看護ステーション太陽・一宮	一宮市三条字安17ハーモニーセブン2C	在宅看護学実習	14~28	
	22	・名古屋市千種区訪問看護ステーション	名古屋市千種区西崎町2丁目4番の1千種区在宅サービスセンター内	在宅看護学実習	14~28	
	23	・名古屋市守山区訪問看護ステーション	名古屋市守山区小幡南1丁目24番10号守山区在宅サービスセンター内	在宅看護学実習	14~28	
24	・訪問看護ステーションあすなろ	春日井市廻間町字大洞681-47	在宅看護学実習	14~28		
保健所・保健センター	25	・一宮保健所	一宮市古金町一丁目3	地域看護学実習	12~20	地域・在宅看護学
	26	・瀬戸保健所	瀬戸市見付町38-1	地域看護学実習	12~20	
	27	・春日井保健所	春日井市柏井町二丁目31	地域看護学実習	12~20	
	28	・江南保健所	江南市布袋下山町西80	地域看護学実習	12~20	
	29	・師勝保健所	北名古屋市鹿田西村前114	地域看護学実習	12~20	
	30	・津島保健所	津島市橋町四丁目50-2	地域看護学実習	12~20	
	31	・半田保健所	半田市出口町一丁目45-4	地域看護学実習	12~20	
	32	・知多保健所	知多市八幡字荒古後88-2	地域看護学実習	12~20	
	33	・衣浦東部保健所	刈谷市大手町一丁目12	地域看護学実習	12~20	
	34	・西尾保健所	西尾市寄住町下田12番地	地域看護学実習	12~20	
	35	・新城保健所	新城市字中野6-1	地域看護学実習	12~20	
	36	・豊川保健所	豊川市諏訪三丁目237	地域看護学実習	12~20	
	37	・名古屋市保健所(各区16保健所)	名古屋市中区三の丸三丁目1番1号	地域看護学実習	12~20	
	38	・春日井市健康福祉部健康推進課	春日井市鳥居松町5-44	地域看護学実習	12~20	
	39	・豊川市保健センター	豊川市萩山町3-77-1・77-7	地域看護学実習	12~20	
	40	・碧南市保健センター	碧南市天王町1-70	地域看護学実習	12~20	
	41	・刈谷市保健センター	刈谷市神田町1-3	地域看護学実習	12~20	
	42	・西尾市保健センター	西尾市熊味町小松島32	地域看護学実習	12~20	
	43	・江南市保健センター	江南市北野町川石町25-11	地域看護学実習	12~20	
	44	・犬山市保健センター	犬山市松本町1-121	地域看護学実習	12~20	
	45	・犬山市市民健康館	犬山市大字前原字橋爪山15-2	地域看護学実習	12~20	
	46	・小牧市保健センター	小牧市常普請1-318	地域看護学実習	12~20	
	47	・東海市しあわせ村保健福祉センター	東海市荒尾町西廻間2-1	地域看護学実習	12~20	
	48	・大府市保健センター	大府市江端町4-2	地域看護学実習	12~20	
	49	・尾張旭市保健福祉センター	尾張旭市新居町明才切57	地域看護学実習	12~20	
	50	・岩倉市保健センター	岩倉市旭町1-20	地域看護学実習	12~20	
	51	・日進市保健センター	日進市岩崎町兼場101-1	地域看護学実習	12~20	
	52	・北名古屋市東保健センター	北名古屋市西之保藤塚93	地域看護学実習	12~20	

種類別	番号	実習施設名	所在地	実習科目	受入学生数	担当分野
保健所・保健センター	53	・北名古屋西市保健センター	北名古屋市能田引免地35	地域看護学実習	12~20	地域・在宅看護学
	54	・豊山町保健センター	豊山町大字豊場字新栄260	地域看護学実習	12~20	
	55	・大口町保健センター	大口町伝右1-35	地域看護学実習	12~20	
	56	・知多市保健センター	知多市緑町32-1	地域看護学実習	12~20	
	57	・幸田町保健センター	幸田町大字菱池字錦田84番地	地域看護学実習	12~20	
保育施設	58	・藤山台保育園	春日井市藤山台3-1-6	小児発達援助実習	12	小児看護学
	59	・岩成台保育園	春日井市岩成台6-2-2	小児発達援助実習	12	
	60	・高座保育園	春日井市高蔵寺町北3-6-3	小児発達援助実習	12	
	61	・第一保育園	春日井市弥生町5264-1	小児発達援助実習	12	
	62	・第三保育園	春日井市篠木5-35	小児発達援助実習	12	
	63	・坂下南保育園	春日井市坂下町4-332-3	小児発達援助実習	10	
	64	・貴船保育園	春日井市貴船町53	小児発達援助実習	10	
	65	・玉川保育園	春日井市玉野町1306-4	小児発達援助実習	10	
	66	・八幡子どもの家	春日井市春見町42-1 八幡小学校隣	小児発達援助実習	16	
	67	・藤山台子どもの家	春日井市藤山台3丁目2番地 藤山台小学校隣	小児発達援助実習	12	
	68	・高森台子どもの家	春日井市高森台8丁目5番地 高森山公園内	小児発達援助実習	14	
	69	・石尾台子どもの家	春日井市石尾台6丁目2番地 石尾台小学校内	小児発達援助実習	16	
	70	・不二子子どもの家	春日井市出川町3丁目14-1 不二小学校敷地内	小児発達援助実習	16	
	71	・勝川子子どもの家	春日井市若草通2丁目1-1 勝川小学校内	小児発達援助実習	16	
助産院・育児支援 関連施設	72	・岩田助産院	一宮市奥町字芝原4番地	母性看護学実習	16	母性看護学
	73	・すこやか助産院	西春日井郡師勝町大字 鹿田字廻間83	母性看護学実習	8	
	74	・鈴木助産院	尾張旭市井田町1-247	母性看護学実習	8	
	75	・広瀬助産院	豊田市堤町神田75	母性看護学実習	10	
	76	・星野助産所	名古屋市守山区金屋1丁目17-2	母性看護学実習	16	
	77	・前田助産院	名古屋市中村区二ツ橋町5-51-4	母性看護学実習	16	
	78	・瑞穂助産所	名古屋市瑞穂区田光町3-62	母性看護学実習	16	
	79	・春日井市子育て 支援センター	春日井市八田町2丁目13-6 春日井市立上八田保育園内	母性看護学実習	35	
	80	・春日井市子育て 子育て総合支援館	春日井市勝川町8丁目2858-1	母性看護学実習	35	
	81	・神屋子育て支援センター	春日井市神屋町2022-3 社会福祉法人神屋保育園内(2階)	母性看護学実習	20	
介護保健・通所 介護施設	82	・介護老人保健施設メディコ守山	名古屋市守山区大字吉根字 日の後100-13	老年生活援助実習	48	老年看護学
	83	・介護老人保健施設ウエルネスきっこ	名古屋市守山区大字吉根 太鼓ヶ根3235-56	老年生活援助実習	42	
	84	・春緑苑デイサービスセンター	春日井市廻間町703の1	老年看護学実習	90	
通所授産施設 ・小規模作業所	85	・NPO法人TOBEC 見晴台工房	名古屋市南区呼続元町9-23	地域精神看護学実習	16	精神看護学
	86	・社会福祉法人薫徳会 精神障害者通所授産施設(サンワーク)	名古屋市東区山口町1-22	地域精神看護学実習	16	





## 看護学実習指導業務委託契約書

委託者愛知県公立大学法人を甲とし、受託者〇〇〇を乙として、甲乙両当事者間において、次のとおり看護学実習指導業務委託契約を締結する。

(総則)

第1条 甲は、乙に対して、次に掲げる愛知県立看護大学生の看護学実習指導業務を委託し、乙はこれを受託するものとする。

委託する業務	看護学実習指導業務
委託する場所	(施設名) (施設住所)
実習学生	愛知県立看護大学生
委託する期間	平成19年5月7日から平成20年3月31日まで (補講等の予備日を含め平成20年3月31日まで)
実習時間	原則として午前8時30分から午後5時までとするが、必要に応じて別途協議するものとする
実習日数及び予定人数	別紙のとおり

(権利義務譲渡の禁止)

第2条 乙は、上記のとおり看護学実習指導業務を引受けるものとし、甲の承認を得た場合を除き、この契約から生ずる一切の権利義務を第三者に譲渡し、又はその履行を委任することはできない。ただし、信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令(昭和25年政令第350号)第1条の2に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りでない。

(看護実習指導)

第3条 乙は、甲と緊密な連絡を保ちつつ、別に定める実習要項に従い看護学実習指導を行うものとする。

(委託料)

第4条 看護学実習指導業務の委託料は、学生1人1日当たり、金1,500円(消費税込み)とする。

なお、実習委託に伴う必要経費、設備及び教材備品整備に要する費用の一切を含むものとする。

(契約保証金)

第5条 契約保証金は、免除する。

(委託料の支払い)

第6条 前条の委託料は、実績払いとし、契約履行完了後適法な請求書を受領した日から30日以内に支払うものとする。

2 甲は、前項の規定による支払いを遅延したときは、年3.4パーセントの支払遅延利息を乙に支払うものとする。

(報告の徴収)

第7条 甲は、必要に応じて乙に対して指導状況及びその結果について報告を求めることができる。

(契約の解除)

第8条 甲は、乙がこの契約の条項に違反したとき又は委託の継続を不相当と認めたときは、この契約を解除することができる。

2 前項の場合において、乙に損害が生ずることがあっても、甲は、その損害を賠償しないものとする。

(雑則)

第9条 この契約書に定めのない事項については、甲、乙協議して定める。

2 この契約の証として本書2通を作成し、甲、乙それぞれ1通を保管する。

平成19年 月 日

甲 愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間1522番3  
愛知県公立大学法人  
理事長 清水 哲太

乙

## 個人情報保護に関する特約条項

(総則)

第1条 この特約は、この特約が添付される契約（以下「本契約」という。）と一体をなす。

(目的)

第2条 この特約は、愛知県公立大学法人（以下「甲」という。）が契約の相手方（以下「乙」という。）施設等における看護学実習（以下「実習」という。）を遂行するに際し、それが特に特定の機微な情報を取り扱うものであることに鑑み、個人情報を十全に保護することを目的として定めるものである。

(個人情報)

第3条 この特約において個人情報（死者に関する情報を含む。以下同様とする。）とは、甲が本契約に基づく実習を遂行するために、乙が提供・開示する個人を識別できる全ての情報とする。ただし、匿名化した情報については、含まないものとする。

(秘密の保持)

第4条 甲は、乙から提供・開示された個人情報について乙の施設外に持ち出してはならないものとする。ただし、匿名化した情報については、この限りではない。

2 甲は、乙から提供・開示された個人情報を善良なる管理者の注意をもって保管管理するとともに、第三者に譲渡・提供せず、実習のために知る必要のある甲の学生以外のものに閲覧・漏えいしてはならない。

(使用目的)

第5条 甲は、乙から提供・開示された個人情報を実習のためのみに限定して乙の施設内でのみ使用するものとして、その他の目的に使用しないものとする。

(事故報告)

第6条 甲は、この特約の履行にあたって事故が生じたときは、直ちに乙に連絡し、その指示を仰ぐものとする。

(関係者への遵守徹底)

第7条 甲は、乙から提供・開示された個人情報を知ることとなる甲の学生にこの特約の内容を遵守させるものとする。

(協議)

第8条 この特約に定めない事項に関しては、甲乙別途協議の上、円満に解決を図るものとする。

(契約満了後の秘密保持)

第9条 本契約の満了後も、本契約期間中に知り得た情報についての秘密保持義務は、有効に存続するものとする。

## 学生の感染症及び保険加入に関する特約条項

(総則)

第1条 この特約は、この特約が添付される契約（以下「本契約」という。）と一体をなす。

(感染症対策)

第2条 愛知県公立大学法人（以下「甲」という。）は、甲の学生のツベルクリン反応、BCG接種、HBs抗原及びHCV抗体についての結果を、麻疹、風疹、水痘及び流行性耳下腺炎についてのり患状況又は予防接種の接種状況を把握するものとする。

(保険加入)

第3条 甲は、甲の学生に財団法人日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入させるものとする。

実習科目の概要及び教員配置・巡回指導計画

資料10

実習時期	期間	実習科目	実習目標	実習場所	実習方法	教員配置・巡回指導計画
1年後期	1週間	初期体験看護実習	患者とのかかわりを通して患者のニーズと療養環境を理解するとともに、見学と体験を通して看護職および他職種の機能と役割を知り、看護を学ぶ動機づけとする。	名古屋第一赤十字病院、春日井市民病院、公立陶生病院	栄養部門、薬剤部門、検査部門などの見学や、看護ケアや診療を受ける患者に付き添い、行われている援助を見学および体験する。	1～2病棟を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授2名、准教授1名、講師1名、助教3名、実習指導員1名、TA2名の合計10名を配置する。
2年後期	2週間	基礎看護学実習	患者を生理的心理社会的全体として理解するとともに、その状況に合った看護の一部を実際に展開する。その体験を通し、患者・家族にとってよりよい看護実践のあり方についての考察を深めるとともに、自己の課題を明確にする。	名古屋第一赤十字病院、春日井市民病院、公立陶生病院	原則として受け持ち患者の看護を、実習目標にそって指導を受けながら主体的に計画し、看護師および指導教員と共に看護技術を実施する。	1～2病棟を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授2名、准教授1名、講師1名、助教3名、実習指導員1名、TA4名の合計12名を配置する。
2年後期	1週間	小児発達援助実習	保育園や学童保育所で生活する子どもへの援助を通して、健康な小児の発達段階や日常生活を広く理解し、援助できる基礎的能力を養うことを目標とする。	春日井市立保育園、春日井市子どもの家など	保育園の各クラスに入り、保育士の指導のもと1日の日課に従い保育活動全般に参加する。また、学童保育所の各クラスに入り、指導員の指導のもと、日課に従い保育活動全般に参加する。	4人の専任教員がすべての保育園や子どもの家を、適宜巡回し、指導者との打ち合わせや指導にあたる。教員4名を配置する。
3年後期	2週間	成人急性期看護学実習	手術療法をうける患者の看護を通して看護を科学的に実践するための思考能力、主体的に行動する能力、環境との相互作用において自己の成長を図ることのできる能力育成を主眼とし、以下の実習目的を達成できるように実習する。 1. 看護を科学的に実践するための思考・行動能力を向上させ、環境との相互作用において自己の成長を図ることができる。 2. 手術療法を受ける患者に対して、侵襲からの身体的、心理的回復を促進する看護をすることができる。	愛知県がんセンター中央病院	手術を受ける患者を、2週間を通して原則として一人受け持ち、手術室見学や必要時ICU病棟での実習を含め、患者に対する看護過程を展開する。	1病棟を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授、准教授は週に1～2回実習施設に出向き指導にあたる。教員は教授1名、准教授1名、助教2名の合計4名を配置する。
3年後期	2週間	成人慢性期看護学実習	病気を持った患者の看護を通して看護を科学的に実践する為の思考能力、主体的に行動する能力、環境との相互作用において自己の成長を図ることのできる能力の育成を主眼とし、以下の5つを目標とする。 1 病気を持った成人を理解する。 2 看護過程を活用し、看護を実践する。 3 看護を科学的・論理的に分析し、説明する。 4 看護を常にCriticalに見つめ、新しい看護を創造していく力を養う。 5 実践を通じ、看護提供者としての自己自身を成長させる。	名古屋第一赤十字病院	慢性疾患を患う患者を2週間を通して原則として一人受け持ち、看護過程を展開する。	1病棟を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。准教授、講師は週に1～2回実習施設に出向き指導にあたる。教員は准教授1名、講師1名、助教2名の合計4名を配置する。
3年後期	2週間	小児看護学実習	様々な発達段階・健康レベルにある小児やその家族と接する体験を通して、小児看護の対象について理解し、それぞれに適した援助を展開できる基礎的能力を養うことを目標とする。	愛知県心身障害者コロニー中央病院、あいち小児保健医療総合センター	1名の患児を受け持ち、その小児の発達段階・健康レベルに応じて、看護過程に基づいた日常生活援助および診察・処置介助等の実習を行う。	1施設内の2～3病棟を、一人の専任教員が担当し、実習施設に出向き指導にあたる。各実習施設へは助教は毎日、教授または准教授は週に2～3回出向いて指導する。2施設を使用しているため教授1名、准教授1名、助教2名、TA1～2名の計5～6名を配置する

実習時期	期間	実習科目	実習目標	実習場所	実習方法	教員配置・巡回指導計画
3年後期	1週間	老年生活援助実習	介護老人保健施設で生活する高齢者の生活や健康問題について幅広く理解し、看護の役割を明確にして援助の実践を身につける。 1. 介護老人保健施設の特徴を理解し、入所高齢者の日常生活の自立を促進する援助方法について学ぶ。 2. 高齢者を取り巻く社会制度や資源および家族について理解し、他職種と連携した看護の機能、実践について学ぶ。 3. 高齢者に対して尊厳のある姿勢、態度を身につけ、介護老人保健施設における看護の役割を学ぶ。	介護老人保健施設メディコ守山、介護老人保健施設ウエルネスきつこ	入所高齢者1名を受け持ち実習する。さらに集団アクティビティを企画・実施・評価する。	1施設を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授1名、准教授1名がそれぞれ実習最終日のカンファレンスに参加し、指導を総括し、実習施設と調整を行なう。教授1名、准教授1名、助教2名の合計4名を配置する。
3年後期	1週間	在宅看護学実習	在宅で生活している疾病や障害を持つ人々、生活自立が困難で支援を必要とする人々とその家族に対して、看護を展開するために必要な基礎知識と技術を学修する。 1. 訪問看護を提供する機関の機能を理解する。 2. 在宅看護の対象者とその生活を理解する。 3. 在宅における看護援助技術を習得する。 4. 在宅療養者をとりにかむ社会資源の実際を理解する。 5. 訪問看護師に求められる役割を理解する。	訪問看護ステーション勝川はじめ9箇所の訪問看護ステーションなど	学生が個々に実習課題を設定し、各実習施設の資源を活用しながら学ぶ。また、継続訪問事例（1事例）を中心に訪問看護の同行、情報収集、アセスメント、問題の抽出、目標の設定、訪問計画の立案を訪問記録に行い、実習指導者のもとで学生が実施できる看護技術を提供する。	1～2施設を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授2名、准教授1名、助教2名、実習指導員1名の合計6名を配置する。
3年後期	2週間	精神看護学実習	対象の精神医学的な問題に対する個別性のある看護を、セルフケア不足看護理論を用いて情報収集、アセスメント、看護診断、看護計画の立案、介入、評価という看護過程の展開を行い、治療的環境としての自己活用を行うことにより学修する。また、精神医学的な問題と入院環境の関係を精神保健福祉法をはじめとする法的根拠を理解し、臨床の場で行われる精神医学的症状に対する治療、看護を学修する。	愛知県立城山病院。（独）国立病院機構東尾張病院、（医）八誠会守山荘病院	城山病院には6名前後の学生が2グループに分かれ2病棟、原則として急性期病棟において、患者1名を受け持ち、病棟の看護体制に準じて実習する。また、東尾張病院または守山荘病院では、学生8名を2グループに分け、東尾張病院では急性期病棟を2病棟、守山荘病院では急性期病棟と開放病棟を使用し、それぞれ患者1名を受け持ち、病棟の看護体制に準じて実習する。	一施設に一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き、指導にあたる。教授および講師各1名は交互に病院を巡回し、助教の指導状況を確認し、指導しつつ、学生の指導、スーパービジョンにあたる。教授1名、講師1名、助教2名の合計4名を配置する。
4年前期	2週間	成人看護学総合実習	看護の持つ機能を広く理解し、主体的かつ創造的に看護を実践していく能力の育成を目的とし、以下の4つを目標とする。 1 看護のもつ教育的機能について理解し、実践する。 2 看護を提供するためのマネージメントについて理解し、実践する。 3 継続看護について理解し、実践する。 4 特定の領域における専門性を追究する姿勢と実践能力を養う。	愛知県がんセンター中央病院	実習目的、目標に基づき、学生自身が実習する領域を専門性によって選択する。学内実習や病棟実習を通して、受け持ち患者の看護ならびにスタッフナースの看護実践への参加、臨床講義を通して、教育的機能、マネージメント、継続看護、専門性について考える。	1病棟を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授、准教授、講師は週に1～2回実習施設に出向き指導にあたる。教授1名、准教授2名、講師1名、助教4名の合計8名を配置する。
4年前期	2週間	母性看護学実習	少子時代における母子を取り巻く環境および対象のニーズにあった母子への継続的支援の実際を学習し、母子保健における今後の看護職の役割を考察する。また現代社会でニーズが高い地域で生活する母子への育児支援について具体的な援助を学ぶために、助産所・育児支援センターで実習をおこない施設と地域を結ぶ看護職の役割モデルをとって学びを深める。	春日井市民病院、みわレディースクリニック、岩田助産院はじめ7箇所の助産院、春日井市子育て支援センターなど	病院では母子1組を受持つ。助産所および育児支援センターは見学実習	1施設を一人の専任教員が担当し毎日実習指導にあたる。助産所・育児支援センターは月2回巡回指導を行う。教授2名、講師2名、助教2名、合計6名を配置する。

実習時期	期間	実習科目	実習目標	実習場所	実習方法	教員配置・巡回指導計画
4年前期	2週間	老年看護学実習	<p>老年期の身体的、精神心理的、社会的特徴を踏まえ、高齢者の健康レベル、生活の実際に応じた看護の実践について学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期に特徴的な疾患をもつ高齢者の看護について、病院実習を通して看護援助の方法を修得する。</li> <li>2. 地域で生活する虚弱高齢者のデイサービスセンターにおける看護の役割を明確にして援助の実践方法を修得する。</li> <li>3. 看護ケアの継続の必要性を理解し、家族支援を含め高齢者の多様なニーズに対応した看護実践について学ぶ。</li> </ol>	春日井市民病院、春緑苑デイサービスセンター	<p>病院実習は高齢者1名を受け持ち、実習を行う。デイサービスセンターは、体験実習、集団アクティビティを企画・実施・評価する</p>	<p>1施設を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授1名、准教授1名がそれぞれ実習最終日のカンファレンスに参加し、指導を総括し、実習施設と調整を行なう。教授1名、准教授1名、助教2名の合計4名を配置する。</p>
4年前期	4週間	地域看護学実習	<p>地域で暮らす人々のヘルスニーズを把握し、人々の健康な暮らしを支援する活動を学ぶとともに地域保健活動における看護職の役割を学修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健所、市町村（保健センター等）の機能と保健活動の実際を理解する。</li> <li>2. 個人・家族が生活している地域のヘルスニーズを理解するとともに保健活動の展開を理解する。</li> <li>3. 地域看護活動で用いられる、人々の行動変容やセルフケア能力の高まる援助方法を理解する。</li> <li>4. 地域看護活動における健康危機管理の実際を理解する。</li> <li>5. 地域看護活動における保健師の役割を理解する。</li> </ol>	愛知県保健書および名古屋市の保健所の計38箇所の保健所、18箇所の市町村（保健センターなど）	<p>・学生が個々に実習課題を設定し、各実習施設の資源を活用しながら学ぶ。家庭訪問では、市町村（保健センターなど）において、母子・成人・高齢者などから1事例以上、保健所において、結核・精神・難病・未熟児等から1事例以上を同行訪問し、情報収集、アセスメント、問題の抽出、目標の設定、訪問計画の立案を行い、実習指導者のもとで学生が実施できる保健指導を行う。健康教育では、健康教育指導案を作成して、実施する。地域診断を実習グループで実施し、地域診断に基づく保健事業計画を作成する。</p>	<p>1～2施設を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授1名、准教授1名、講師1名、助教2名、実習指導員1名の合計6名を配置する。</p>
4年前期	1週間	地域精神看護学実習	<p>地域で生活している精神障害を持つ対象との関わりの中で、対象の理解を深め、医療・保健・福祉サービスの実際を学び、看護の役割を地域で生活する障害者の生活状況を理解させる。精神保健福祉施設の役割を関与しながら学習し、サービス提供をする医療福祉従事者の役割および他職種との連携の実際、精神保健に関する社会資源の活用や、その他の支援サービス地域精神保健活動の課題を学修する。</p>	城山デイケアセンター、(独) 国立病院機構東尾張病院精神科デイケア、社会福祉法人薫徳会精神障害者通所授産施設など	<p>学生が主体的に学習目標を設定し、目標を達成できるように資源を活用して学ぶ。各実習施設の状況に応じて、個々の活動への参加を行う。また、施設・他職種や地域精神医療について自己学習やグループワークを行う。</p>	<p>名古屋南部と北部の2グループを2名の専任教員が担当し、半日単位で巡回指導を行う一方、講師、教授が各施設を交代で巡回し助教の学生への指導のスーパービジョンを行いながら、学生個々の指導にもあたる。教授1名、講師1名、助教2名の合計4名を配置する。</p>
4年前期	1週間	看護管理学実習	<p>この実習は卒後の進路を考える時期において総合的な視野に立ち、臨床現場にスムーズに適応することをねらいとする。具体的には複数の患者を受け持つ看護師に同行し、ケアの優先度やチームメンバーの役割分担が考えられる。さらに、チーム医療や安全管理体制などにも参加し他職種との連携のあり方、メンバーシップやリーダーシップのあり方を学ぶ。退院後への継続看護のあり方も学ぶ。さらに、以上のことから看護専門職として今後どのような能力を養っていくか自らの自己成長を病院組織の支援体制とともに考えることが出来る。</p>	中部ろうさい病院 名古屋大学医学部附属病院	<p>看護師のケア行動や安全管理活動、チーム医療、外来看護への継続などの諸活動に同行し、ケアの実際やチームメンバー間の役割分担を知る。インタビュー、カンファレンスなどによって看護をマネジメントできる能力を身につける。グループ行動によって主体的に学習を推進しリーダーシップ、交渉力を発揮する。</p>	<p>3～4病棟を一人の専任教員が担当し、毎日実習施設に出向き指導にあたる。教授1名、准教授1名、助教1名、実習指導員1名の合計4名を配置する。</p>

実習施設における指導者の配置計画(1年次・2年次)

		9		10		11		12		1		2		3			
学年	人数	26~27	28	29	30~31	32	33~38	39~41	42~45	46	47	48	49	50	51	52	
1年次生	90名					初期体験看護実習 (3施設で実施)  大津教授5日/週 小松教授5日/週 曾田准教授5日/週 佐藤講師5日/週 渡邊助教5日/週 田代助教5日/週 水野助教5日/週 実習指導員5日/週 TA(2名)5日/週				初期体験看護実習 (3施設で実施)  大津教授5日/週 小松教授5日/週 曾田准教授5日/週 佐藤講師5日/週 渡邊助教5日/週 田代助教5日/週 水野助教5日/週 実習指導員5日/週 TA(2名)5日/週							
2年次生	90名		基礎看護学実習 (3施設で実施)  大津教授5日/週 小松教授5日/週 曾田准教授5日/週 佐藤講師5日/週 渡邊助教5日/週 田代助教5日/週 水野助教5日/週 実習指導員5日/週 TA(4名)5日/週										小児発達援助実習 (14施設で実施)  山口教授1日/週、 服部准教授1日/週、 寺園助教1日/週、 赤松助教1日/週				

冬季休業

春季休業







